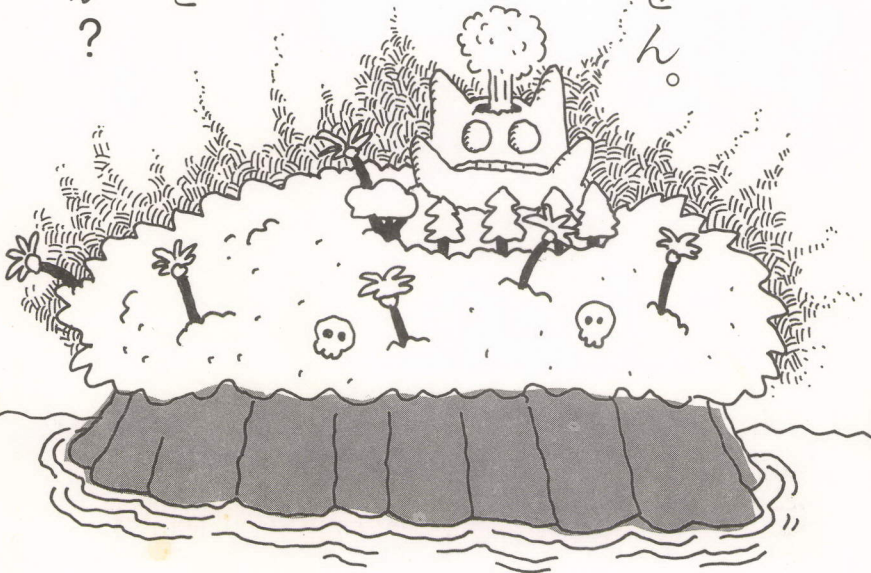
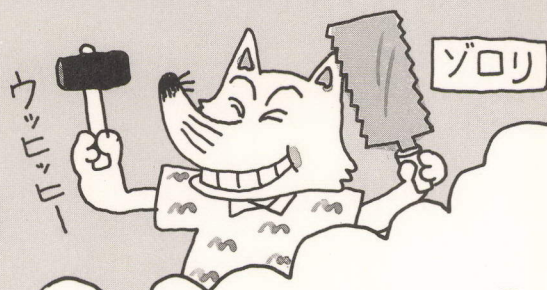
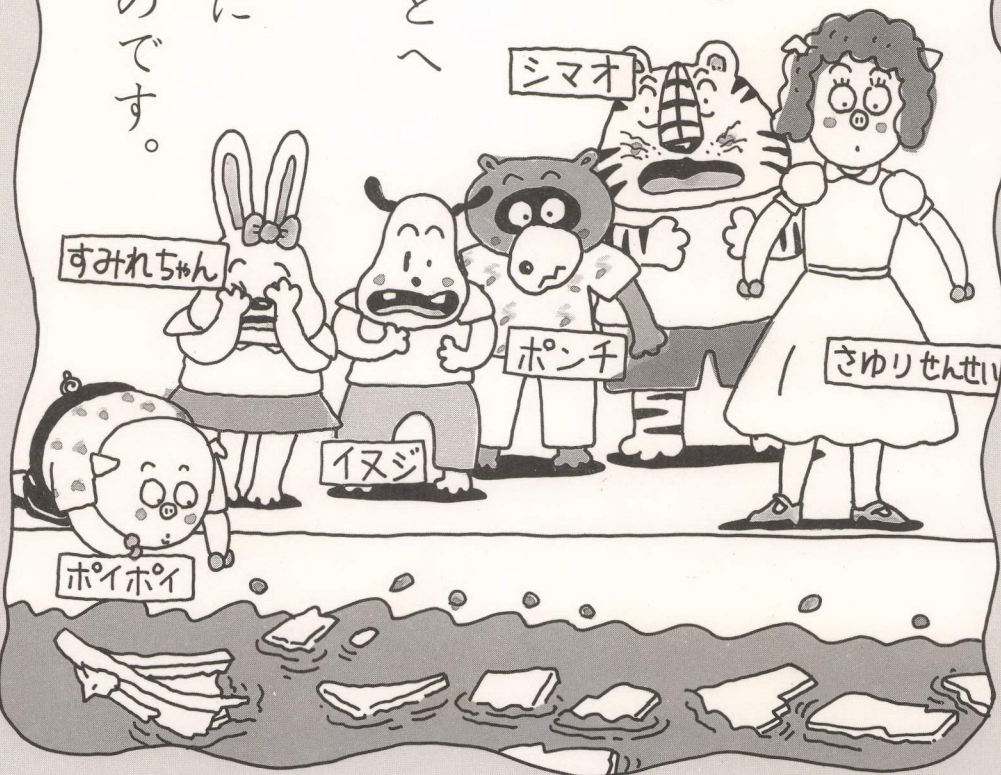
ISBN4-591-02384-2 C8093 ¥680E

ポプラ社の小さな童話⑧7
小学1～2年むき
定価 680円

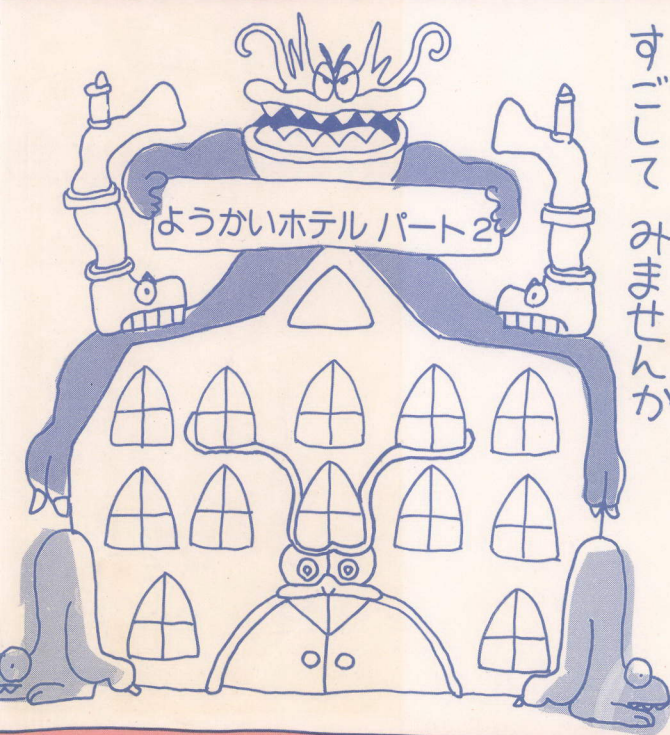
ポプラ社

おうちに　かえりたいけど、
ふねが　なくては　かえれません。
おばけと　ようかいが
だいきらいな　ポイポイの
うんめいは？
そして、ポイポイたちは
ぶじに、この　ようかいじまを
だっしゅつ　できるでしょうか？

ゾロリに　だまされて、
ようかいじまに　つれて
こられた　ポイポイたち。
ゾロリの　いじめを
のりこえて、さあ
かえろうと　みなとへ
いってみると、
ふねは　こなごなに
こわされていたのです。

このあたりの うみには
むじんとうが 207つ
あります
ようかい
はかば
このあたりも
大きなさめが
でるらしい
ようかい がっこう
まむしだに
おどろ ぬま
この森は
まだ なぞに
つつまれている
ようかいじま
めいぶつ
ようかいタワー
ポイポイが どの みちを
とおって ようかい学校に
くるか、この本を よんでから
もういちど みてみろよ!!
ようかい王国
こうもり
こうげん
キケン
およぐな
さめかいがん
この木の くろいのは
すべて、こうもりなのだ!!

# ようかいじま かんこう あんない

ようかいじまは このたび ゾロリさまの
いじめを、たたえて、ようかい王国の
ひろばに、どうぞうを たてる ことに
なりました。
めいしょの ふえた ようかいじまに
いちど、いらして ください



ようかいホテルが できあがりました。
いちだんと ぶきみに なった このホテルで
こわくて ねむれない よるを
すごして みませんか

ポプラ社の

# 小さな童話

- 2 1年生っていいね 宮川ひろ・さく 田中槇子・え
- 6 スパゲッティがたべたいよう 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 8 ハンバーグつくろうよ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 9 先生にはないしょ 宮川ひろ・さく 長谷川知子・え
- 12 ソフトクリームとっきゅう 矢玉四郎・さく 井沢洋二・え
- 13 カレーライスはこわいぞ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 18 まねっこ1年生 宮川ひろ・さく 山本まつ子・え
- 19 どんなケーキがいいかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 20 おばけのコッチ ピピピ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 21 おばけのソッチ ぞびぞびぞー 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 25 ピザパイくんたすけてよ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 26 うさぎのとっぴん 前川かずお さく・え
- 28 おばけのアッチねんねんねんね 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 29 うたうケーキはどうかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 32 エビフライをおいかけろ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 35 おばけのコッチあかちゃんのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 36 にじのケーキはおいしいかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 39 おばけのソッチ1年生のまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 41 うさぎのとっぴんとゆきおとこ 前川かずお さく・え
- 43 カレーパンでやっつけよう 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 45 ホットケーキでゆうえんち 谷 真介・さく 国井 節・え
- 47 フルーツポンチ はいできあがり 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 50 しょうぼうじどうしゃドコデモくん エム・ナマエ さく・え
- 52 おばけのアッチスーパーマーケットのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 55 びっくりランドのびっくりすべりだい 谷 真介・さく 国井 節・え
- 58 へんし～ん ほうれんそうマン みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 59 うさぎのとっぴん びっくりパンク 前川かずお さく・え
- 61 おばけのぷぷのチョコレートケーキ 谷 真介・さく 国井 節・え
- 63 かいじゅうランドセルゴン 大石 真・さく 阿部 肇・え
- 64 ほうれんそうマンよいこの1年生 みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 65 ハンバーガーぷかぷかどん 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 67 おえかきケーキでつくったら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 68 ほうれんそうマンのおばけやしき みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 69 おばけのアッチこどもプールのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 70 おばけのソッチラーメンをどうぞ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 71 まじょがつくったアイスクリーム 上崎美恵子・さく 佐竹美保・え
- 72 にゃんたんのなぞ？なぞ？ 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 73 ほうれんそうマンのじどうしゃレース みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 74 8ひきのこねずみと8このチーズケーキ 谷 真介・さく 国井 節・え
- 75 こわがりやの2年生 宮川ひろ・さく ゆーちみえこ・え
- 76 アッチのオムレツぽぽぽぽーん 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 79 くまの子ウーフミミちゃんといっしょ 神沢利子・さく 井上洋介・え
- 81 ほうれんそうマンのようかいじま みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 84 おばけのソッチおよめさんのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 85 うさぎのとっぴんパイロットだ！ 前川かずお さく・え
- 86 8ひきのこねずみといたずらクッキー 谷 真介・さく 国井 節・え
- 87 ほうれんそうマンのようかいがっこう みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 88 こねこムーのおくりもの 江崎雪子・さく 橋本淳子・え
- 89 にゃんたんのゲームブック 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 90 くまの子ウーフミミちゃんのみみ 神沢利子・さく 井上洋介・え
- 91 ほうれんそうマンのゆうれいじょう みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 92 車のいろは空のいろきこえるよ○（まる） あまんきみこ・さく つちだよしはる・え
- 93 アッチとボンのいないいないグラタン 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 94 にゃんたんのゲームブック どきどきようかいたいじ 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 95 うさぎのとっぴんとプリンかいじん 前川かずお さく・え
- 96 えっちゃんとこねこムー 江崎雪子・さく 橋本淳子・え
- 97 かいけつゾロリのドラゴンたいじ 原ゆたか さく・え
- 98 おこさまランチがにげだした 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 99 にゃんたんのゲームブック なぞなぞまほうがっせん 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 100 くまの子ウーフおつかいかぞえうた 神沢利子・さく 井上洋介・え

ポプラ社の小さな童話㊽

ほうれんそうマンのようかいがっこう

一九八七年二月　第1刷
一九八九年二月　第13刷

作家　みづしま志穂
画家　原ゆたか
発行者　田中治夫
編集　坂井宏先・井澤みよ子
発行所　株式会社 ポプラ社
東京都新宿区須賀町五　〒一六〇
TEL　東京　〇三―三五七―二二一一（代）
振替・東京　四―一四九二七一
印刷　瞬報社写真印刷株式会社
製本　島田製本株式会社




ISBN4-591-02384-2

●作家紹介

**みづしま志穂**（みづしましほ）

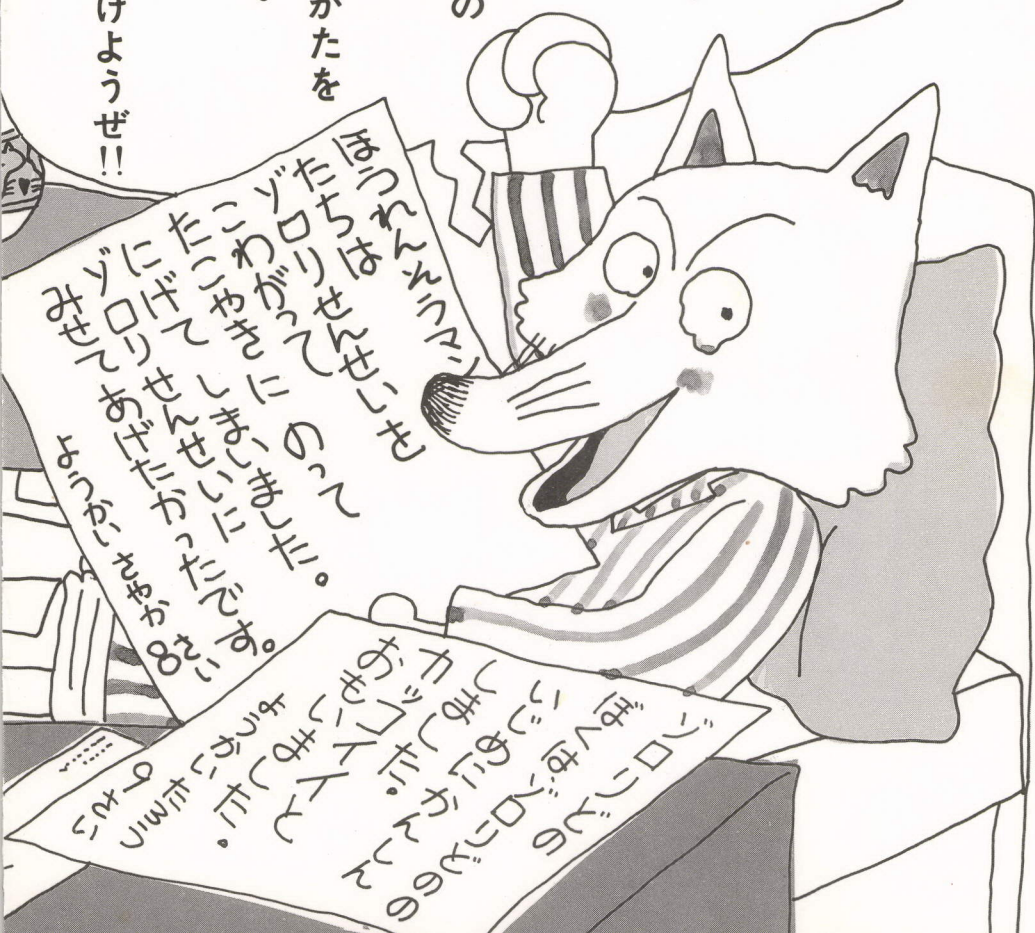
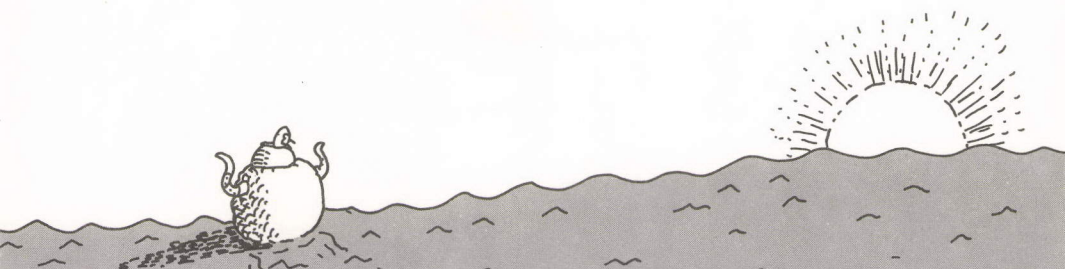
一九五二年、鹿児島県に生まれる。「つよいぞポイポイきみはヒーロー」で第七回毎日童話新人賞「好きだった風　風だったきみ」で第三十二回毎日児童小説賞・日本児童文学者協会新人賞を受賞する。作品に「ほうれんそうマン」シリーズなどがある。

●画家紹介

**原ゆたか**（はらゆたか）

一九五三年、熊本県に生まれる。七四年KFSコンテスト・講談社児童図書部門賞受賞。主な作品に、「ちいさなもり」「マータンはまさおくん」「てぶくろロケットの宇宙探険」「たからのげた」「ぷうのおつかい」「ぼくのもパパみたいになるのかな」「ほうれんそうマン」シリーズなどがある。

ゾロリどの このあいだは
ほうれんそうマン いじめ
しっぱいしてもうしわけない
ところで、すみれちゃんのでしに
なりたいのですが
どうしたら いいでしょうか
ようかい バクハツダー
ゾロリせんせい
ばんざい
3さい
ようかい ゆたか
ゾロリせんせいへ
ようかいじまでは
ゾロリブームで たいへんです
そこで「ゾロリじゃしんしゅう」を
しゅっぱんしたいのですが
よろしいでしょうか
ようかい ポプラ社
ゾロリさまっ
ゾロリは バタあしで
およいで きたので
いま、あしは つかれはて
うごかすことが
できません
ゾロリどのへ
ぜいとのみんなは
ゾロリどのの いじめに
かんどうして ただしい
あくのみちも すすみ
はじめました。
ありがとうございました。
おれいに ようかいじま
めいぶつ「ようかいまんじゅう」
おくります ようかい生徒
みょ〜な
あじの
ようかい
まんじゅう
ファンレターの たば

ようかいせいとから
こんなに　ファンレターが
きたぞ。
なかせるじゃねえか、グスッ。
おれさまも　もっと　もっと
がんばらなくちゃなあ。
ようかいいがいの　どくしゃの
しょくんも、ファンレターや
ほうれんそうマンの　いじめかたを
おれさまに　おくってこいよ。
さんこうに　して、
ほうれんそうマンを　やっつけようぜ!!

ゆう日を　あびた
たこやきが、すいへいせんに
むかって、小さく　なって
いきました。

左の　しゃしんは、ぶじに　みなとに
ついた、ポイポイたちの　しゃしんです。

たこやきぶねに
のりこんで
これから　うちに
かえります
たこやき
おいしい
パク
パク
パク
バタ
バタ
バタ
バタ
バタ
バタ

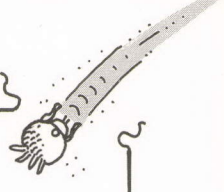
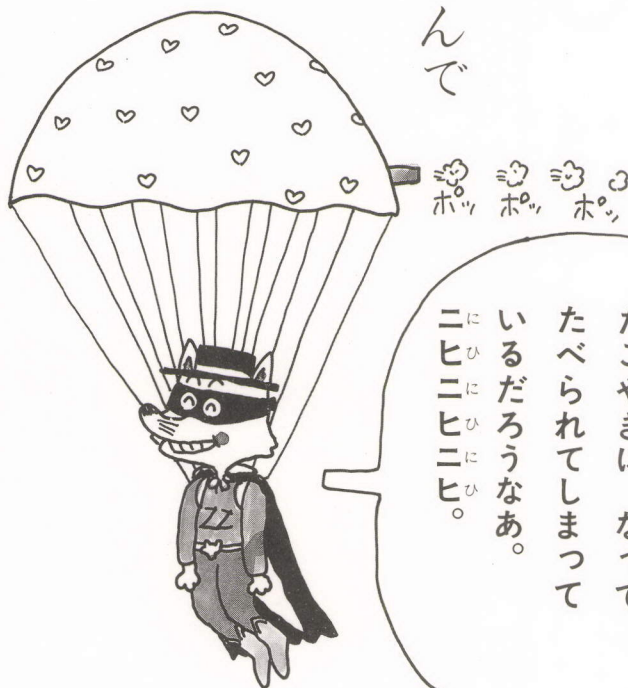
そのとき、うみの下では、
タコチューメカの　足に
からまった　ゾロリが、
ひっしに　にげまわっていたことには、
だれも　きがつきませんでした。

たこやきは　うみに　おちると、すごい
いきおいで、水の上を　はしりだしました。

「あらっ、この　タコチューたこやき、わたしたちの
うちに　むかっているわ。」

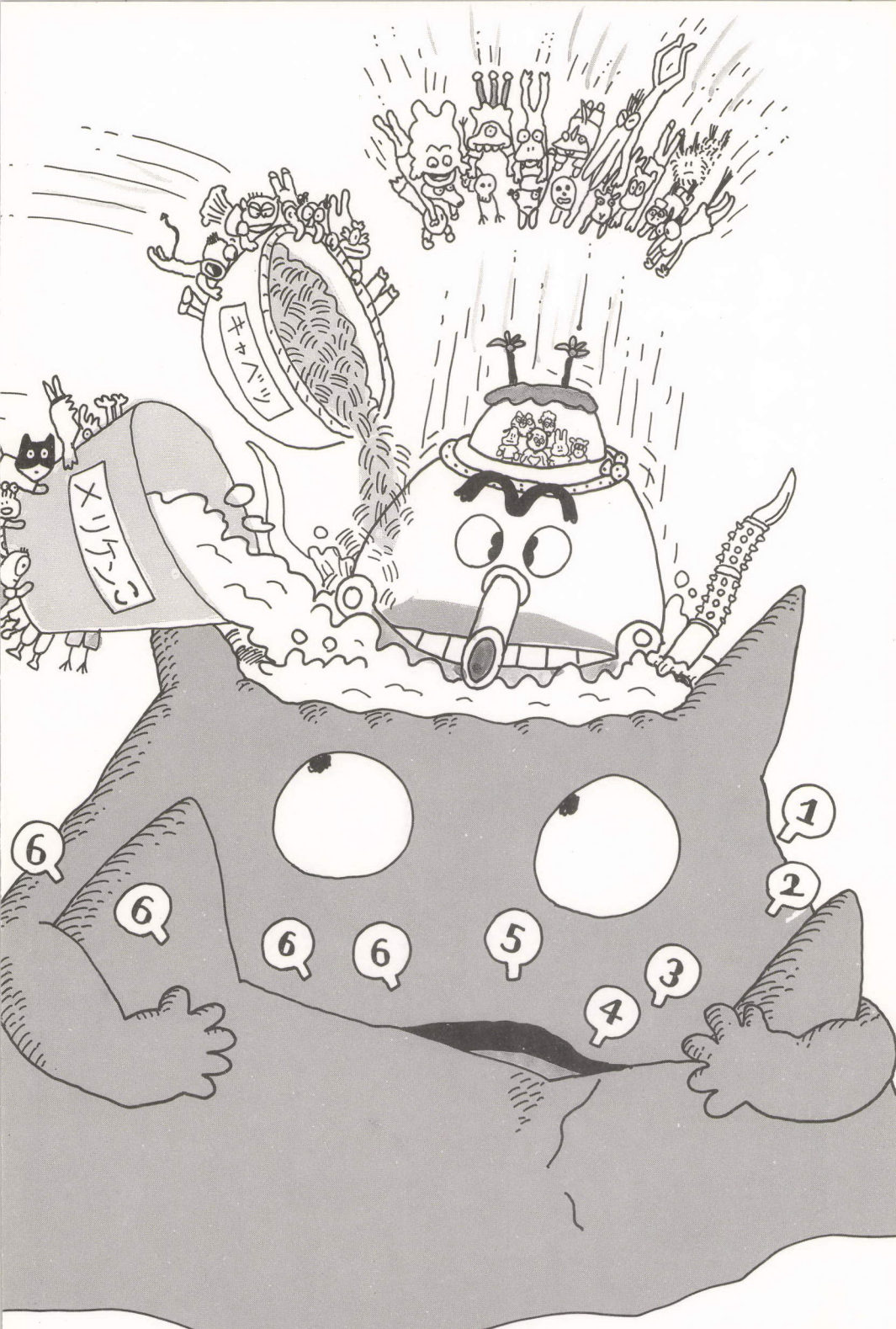
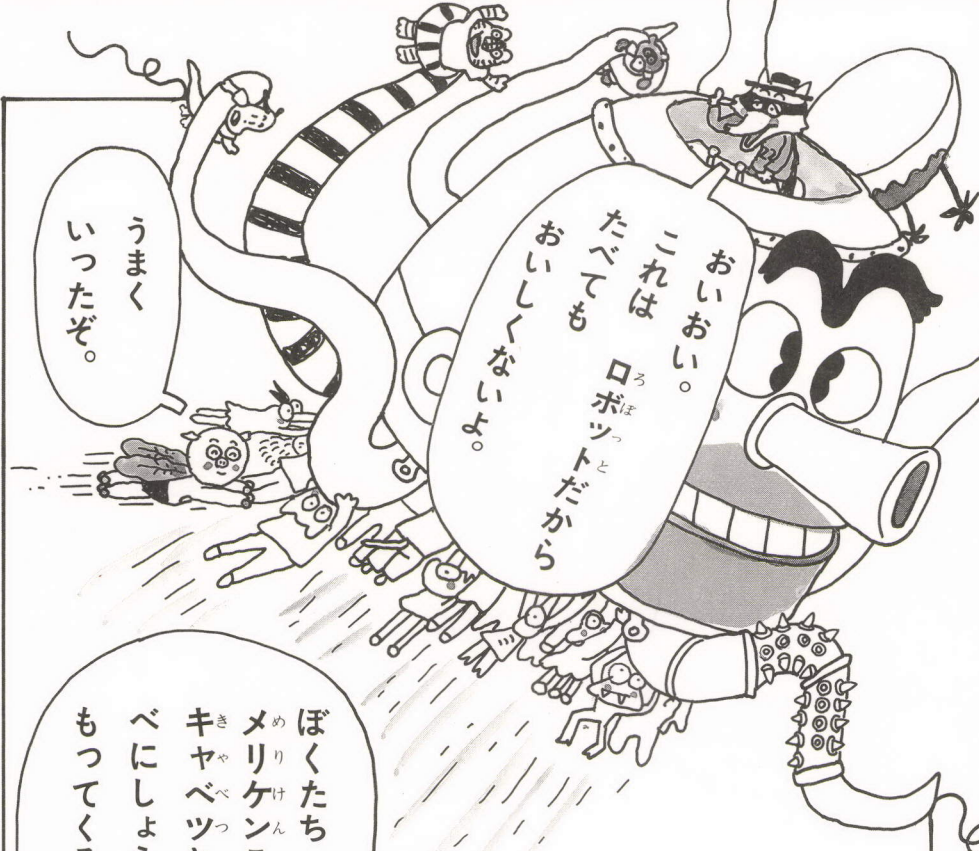
「ふねでも　ないのに、どうして　うごくのかなあ？」

「ふしぎだねえ。だけど、これで
おうちに　かえれるんだから、
よかったね。」

ドガッ
ゲッ

そのころ　ゾロリは、
パラシュートで
のんびり　空の
たびを　たのしんで
いました。

だいばくはつ。
ホコホコ アチチの
たこやきは、空たかく
まいあがりました。

ようかいの　かずが　あんまり
おおすぎたため、どっかん火山（かざん）の
あたまは　いよいよ　こんがらかり
すぎて……

どっかん火山の　ふんかこうは、　たこやきを
やくには、ちょうどいい　大きさでした。
おおぜいの　ようかいが　たこやきを　つくろうと、
いちどに　わーっと　あつまりました。
それで　6までしか　かぞえられない　どっかん
火山は、あたまが　こんがらかって　しまって、
かこうから　火を　ふいたので、あっというまに
たこやきが　こんがり　やきあがったのですが……

キャベツ
メリケンこ
1
2
3
4
5
6
6
6
6

えーい、こういうときは
だっしゅつしよう。
ヒッヒッヒッヒッ。
おーい　みんな、
その　あたまのなかに
はいるんだ。
ほうれんそうマン
わかったわー。

おいおい。
これは　ロボットだから
たべても
おいしくないよ。

うまく
いったぞ。

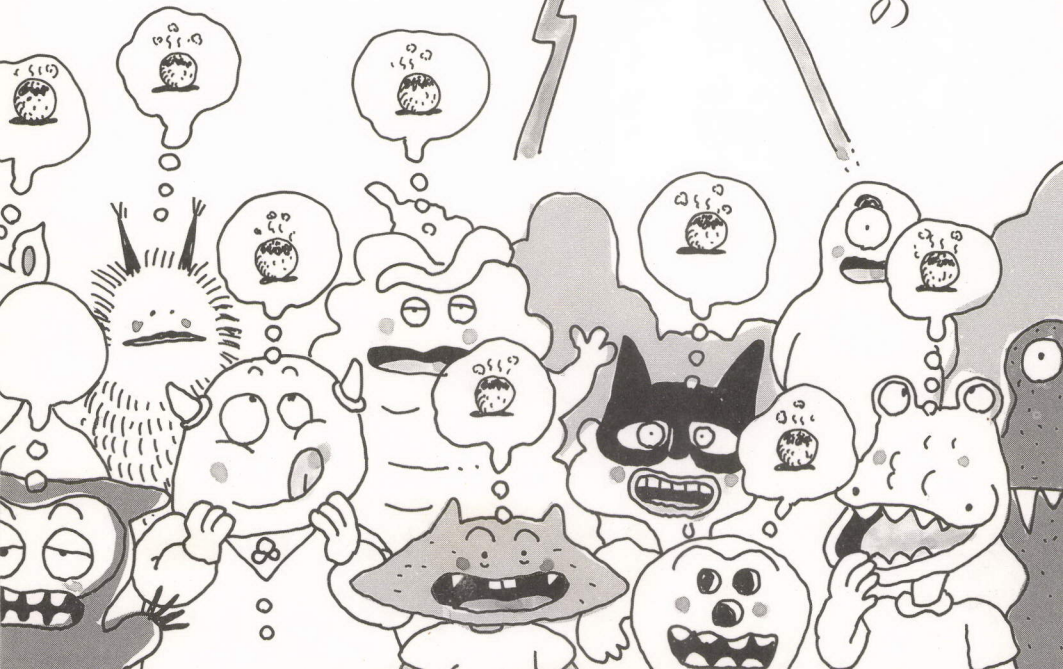
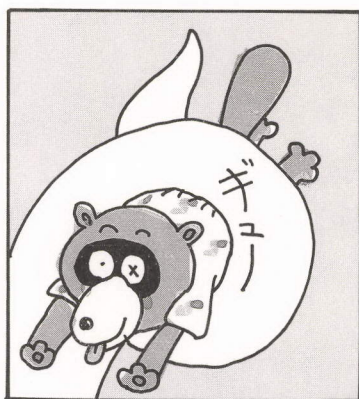
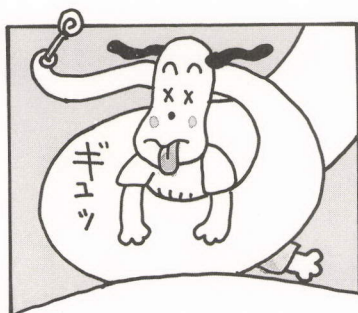
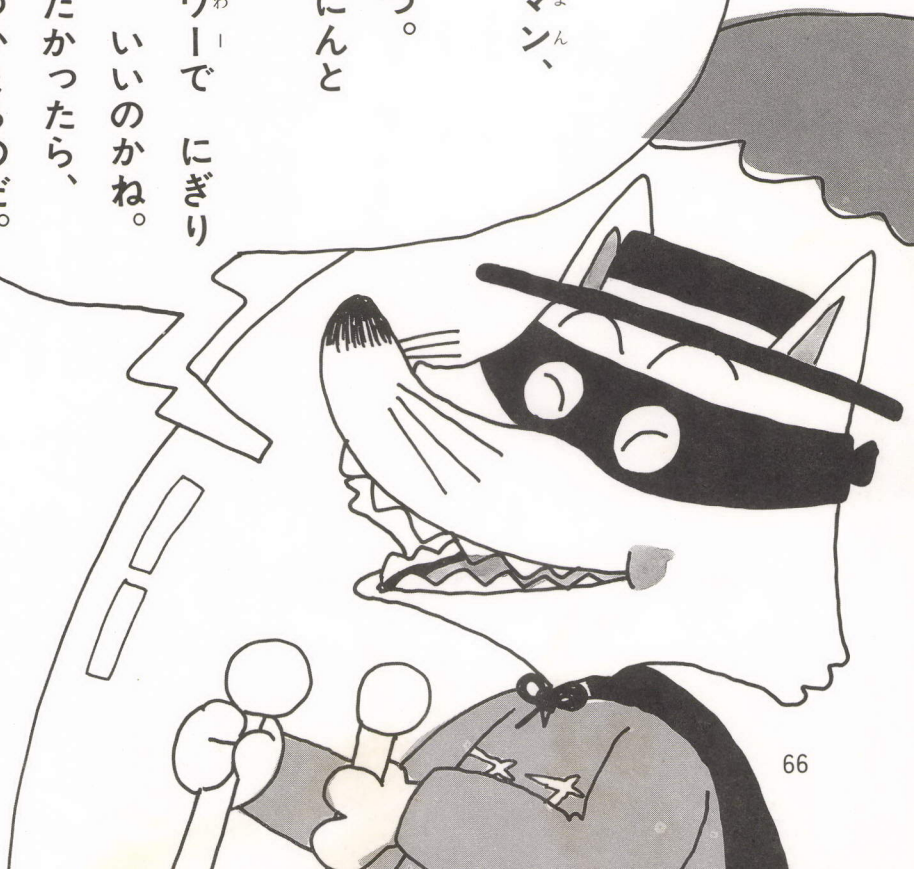
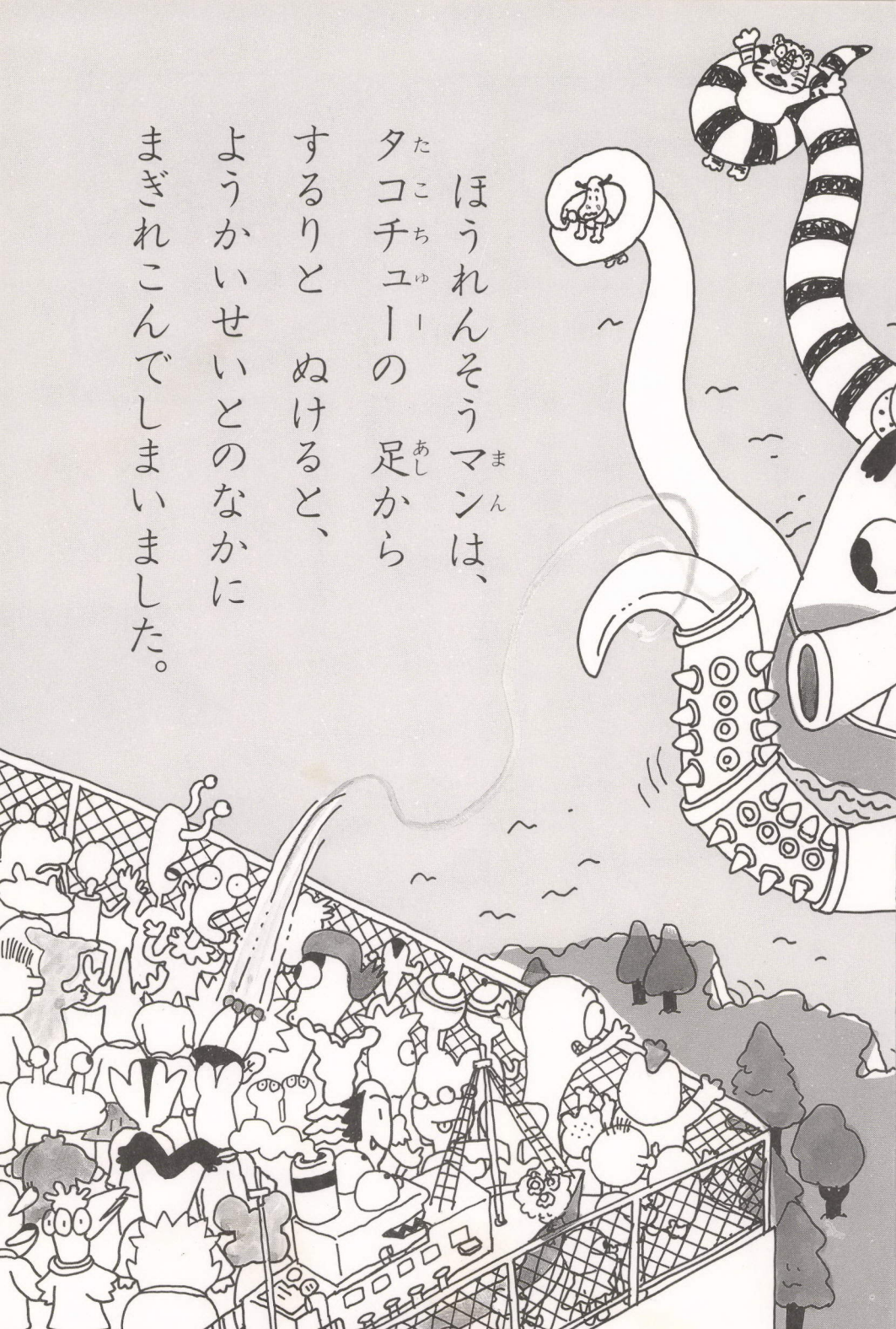
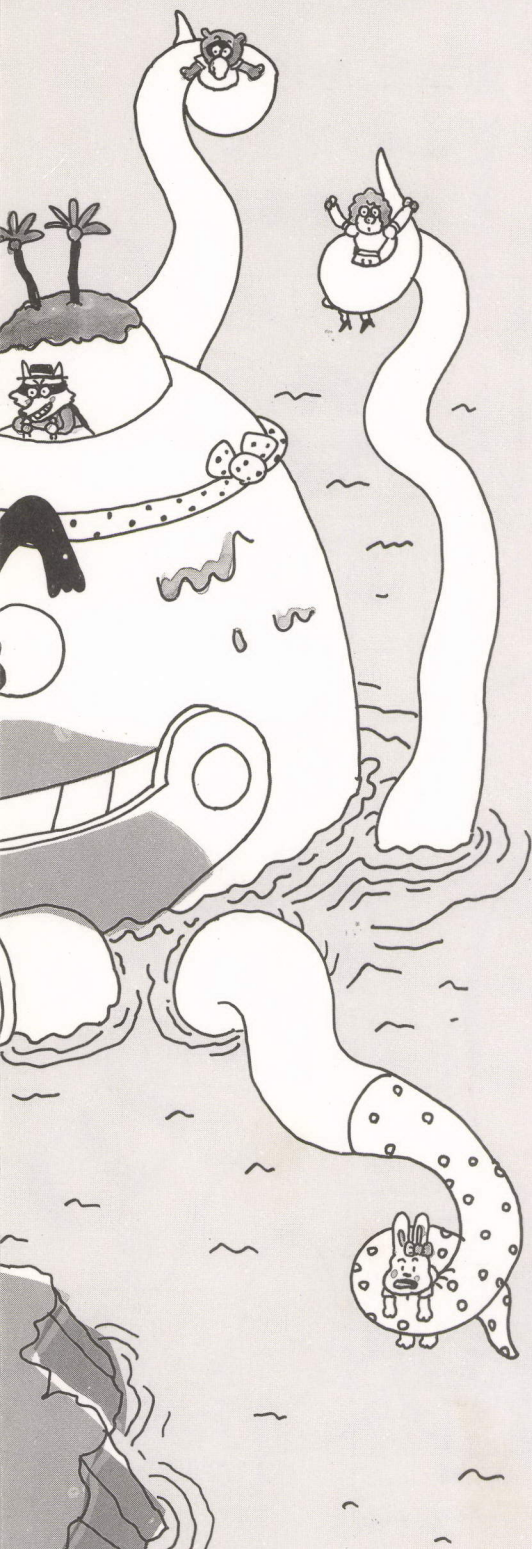
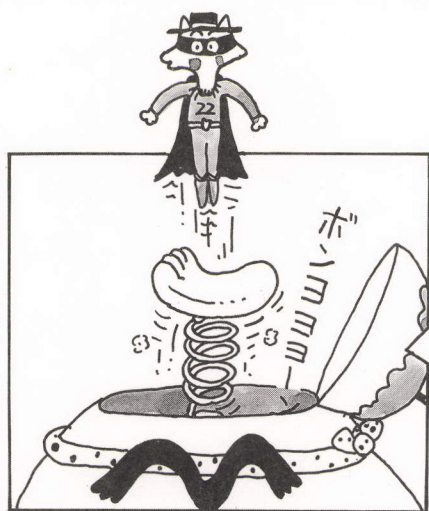
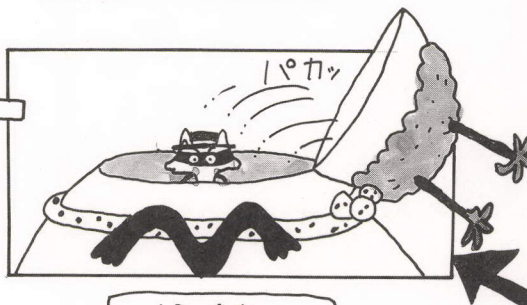
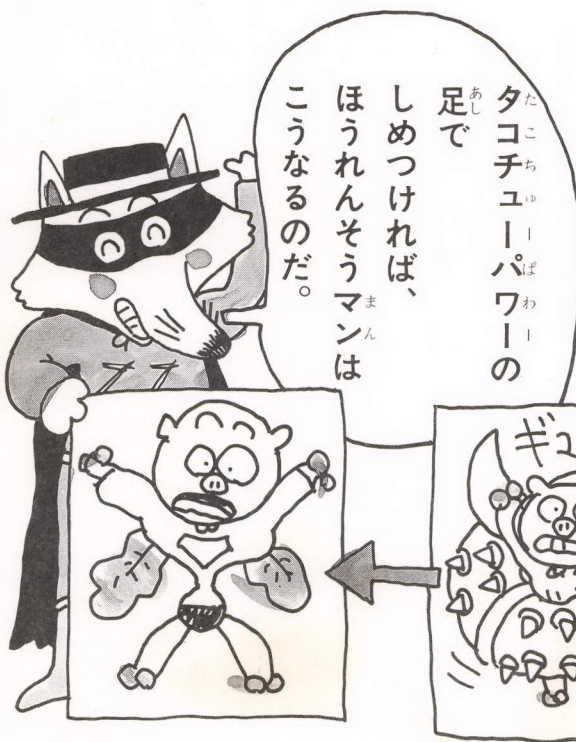
ようかいたちは、もう
がまん　できません。
タコチューマシーンを、
かつぎあげ、どっかん
火山へ　いっちょくせん。

ぼくたち
メリケンこと
キャベツと
べにしょうが、
もってくるからね。

どっかん火山の ふんかこうで、 あの タコを たこやきに すると、 きっと おいしいぞ――。
ようかいたちは、 ホコホコ アチチの たこやきを おもいうかべて、 よだれが でてきました。

そのときです。きゅうしょくの
かねが　なりました。

キンコンカンコン

ようかいせいとたちの
おなかが、グウと　なるのを
きいたとたん、ほうれんそう
マンの　あたまに
アイディアが　ピカッ！

ほうれんそうマン(まん)は　かくれながら、
すみれちゃんたちを
たすける　ほうほうを
かんがえていましたが、
なかなか　アイディア(あいでぃあ)が
うかびません。

ギュッ
フッフッフ
ほうれんそうマン、
にげるとは
ひきょうなやつ。
ともだち　四にんと
さゆり先生が、
タコチューパワーで　にぎり
つぶされても　いいのかね。
さあ　たすけたかったら、
おとなしく　つかまるのだ。

ほうれんそうマン(まん)は、
タコチュー(たこちゅー)の　足(あし)から
するりと　ぬけると、
ようかいせいとのなかに
まぎれこんでしまいました。

おやおや、タコチューマシーンのせつめいをしているあいだに、すみれちゃん、シマオ、イヌジ、ポンチ、そして　さゆり先生は、タコチューマシーンに　つかまってしまいました。

きけんに なったら
だっしゅつ できる
そうちも あるよ!!
ポンヨヨヨヨヨ
パカッ
ポン千を
つかまえるための
あし
あたまは、
『ほうれんそうマンの ようかいじま』
に でてきた すいかわりマシーンの
あたまを りよう したんだ
タコチューパワーの
足で
しめつければ、
ほうれんそうマンは
こうなるのだ。
シマオを
つかまえるための あし
ギューッ
イヌジを
つかまえるためのあし

# ゾロリの　けっさくメカ
# タコチューマシーンの
# ひみつを　みよ!!

**そうじゅうせき**

パラシュートや
さんそボンベも
つんであるぞ

エネルギーを おくる
ねじり はちまき

さゆり せんせいを
つかまえる ための あし

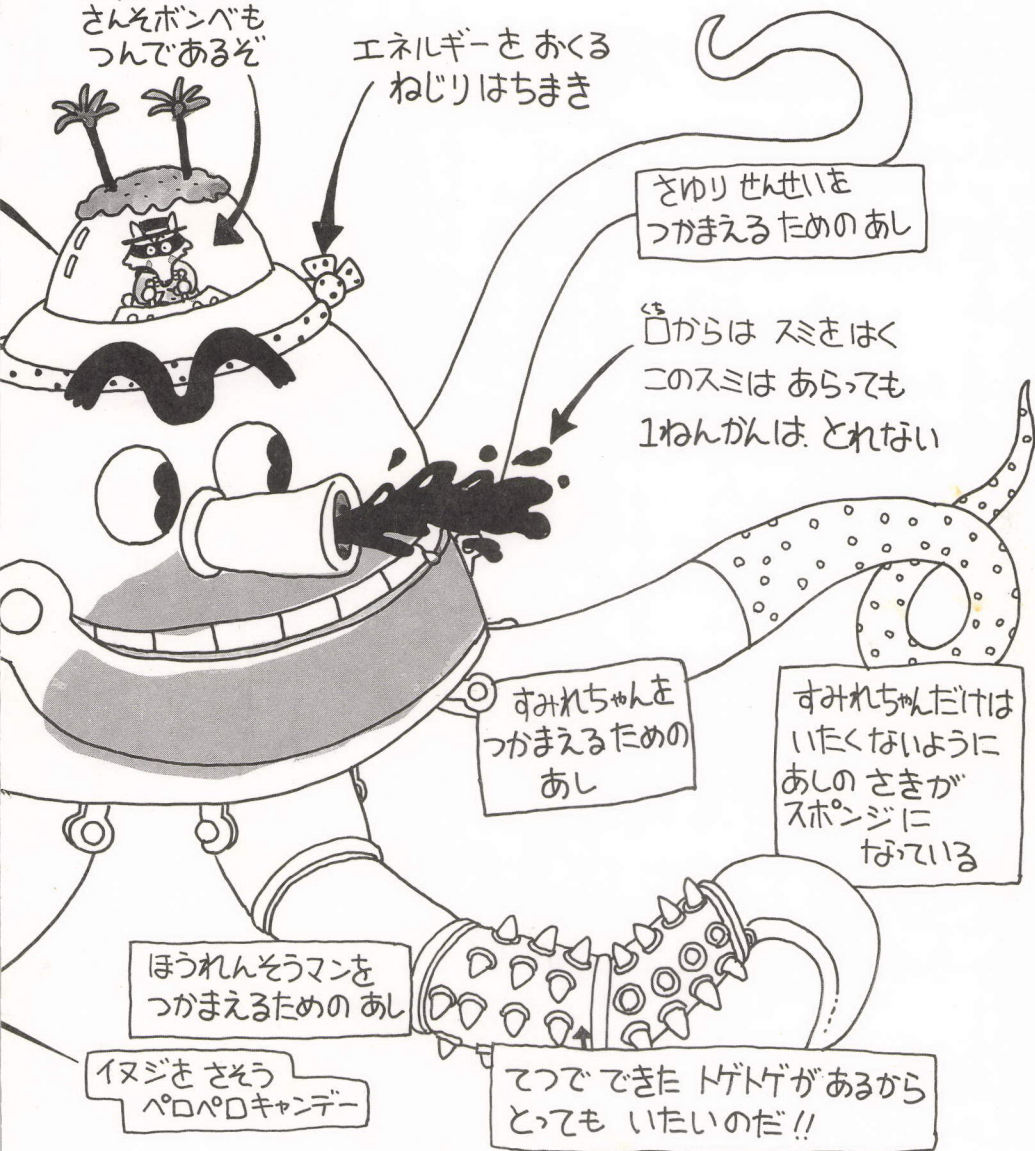
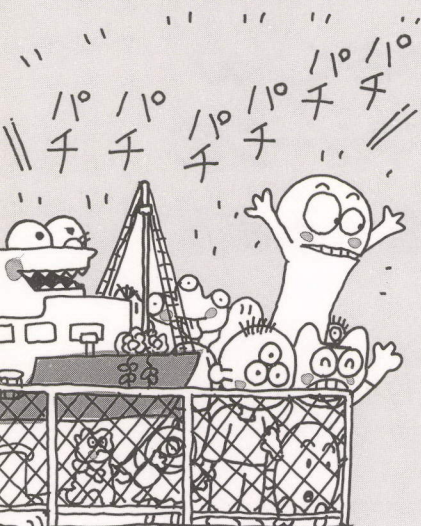
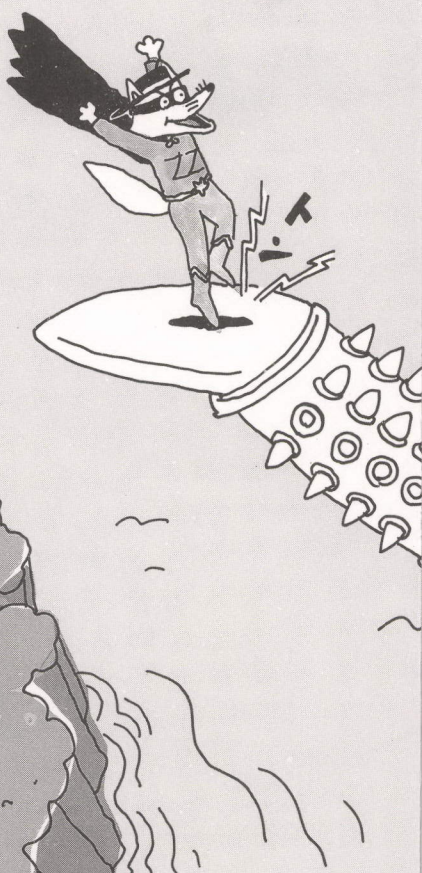
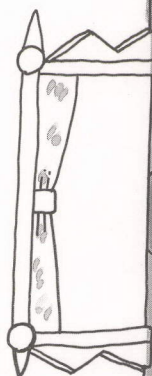
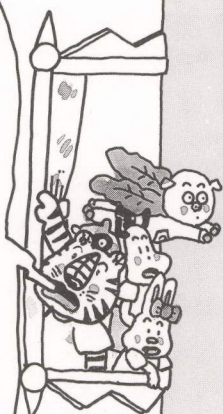
口からは スミを はく
このスミは あらっても
1ねんかんは とれない

すみれちゃんを
つかまえる ための
あし

すみれちゃんだけは
いたくないように
あしの さきが
スポンジに
なっている

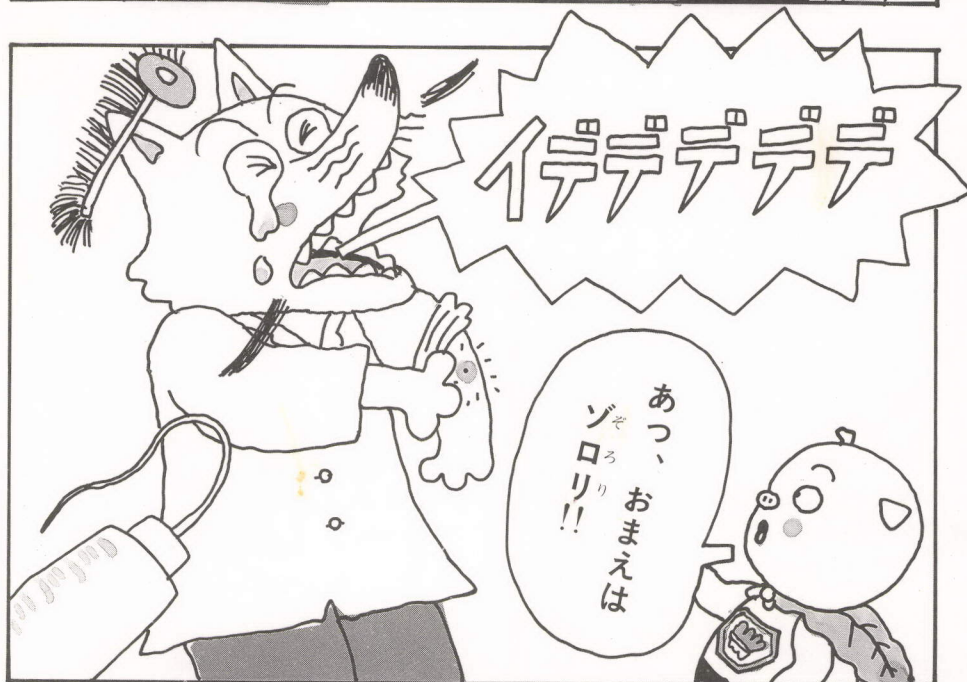
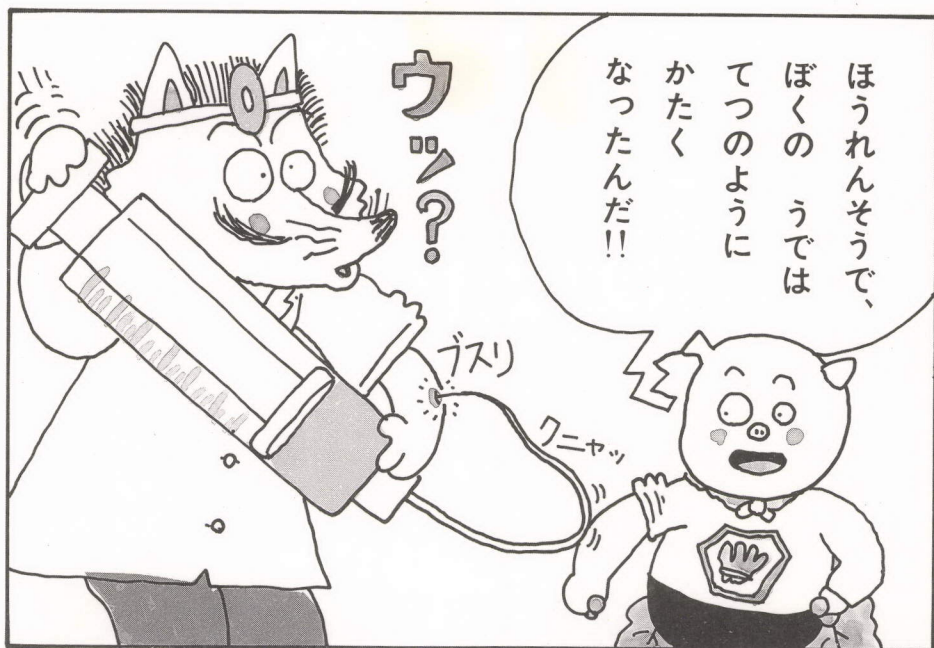
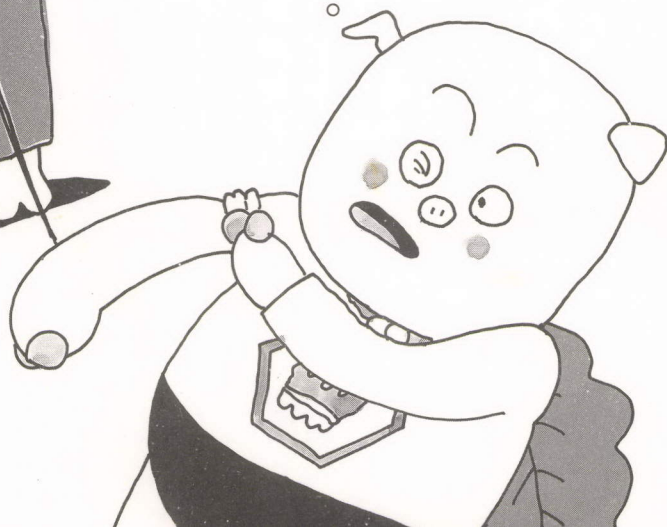
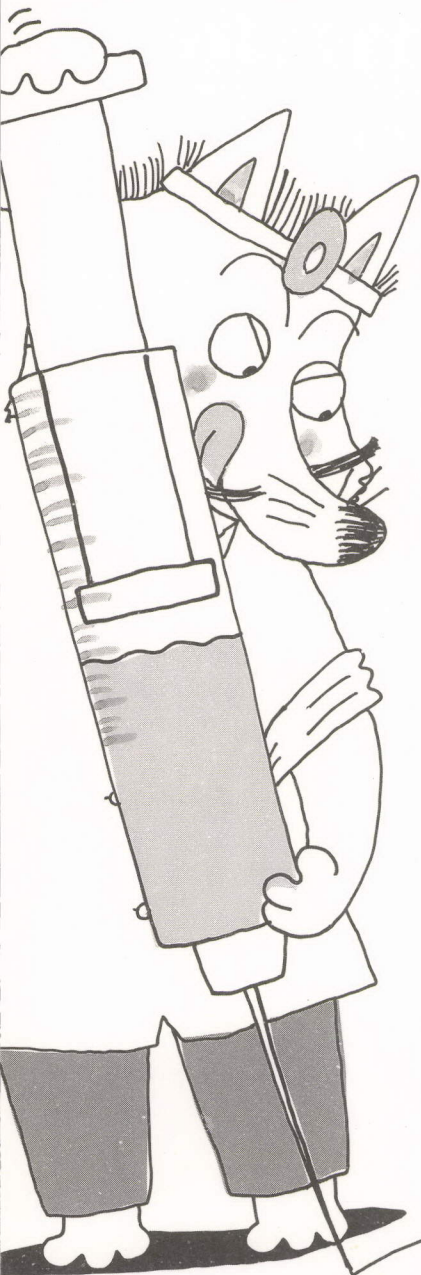
ほうれんそうマンを
つかまえるための あし

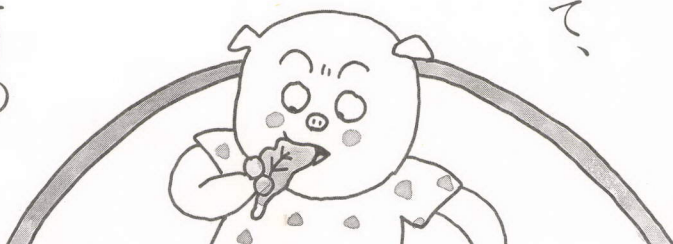
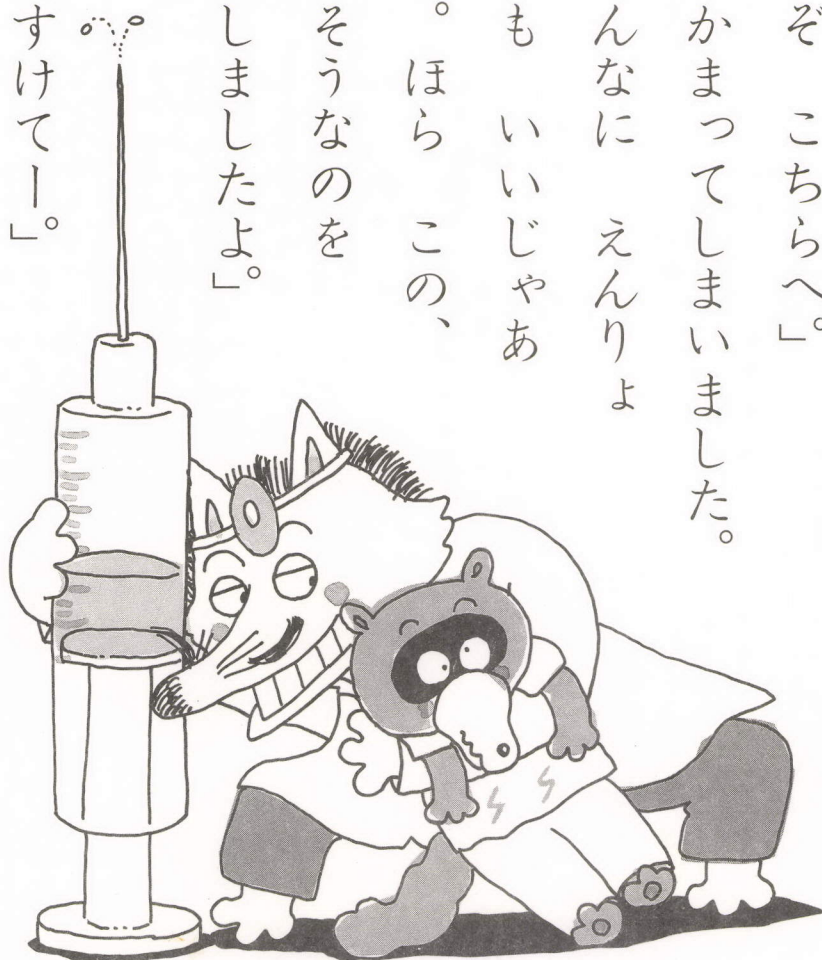
イヌジを さそう
ペロペロキャンデー

てつで できた トゲトゲが あるから
とっても いたいのだ!!

「うわーっ、すげーっ。」
ようかい学校の
おくじょうには、
ゾロリさまの
いじめを　べんきょうしようと、
ようかいの　せいとが　せいぞろい。

ザザザザザザザザザザザ
ザザザザ
すると　どうでしょう。
むじんとうの下（した）から、大ダコ（おおだこ）が
あらわれたのでした。

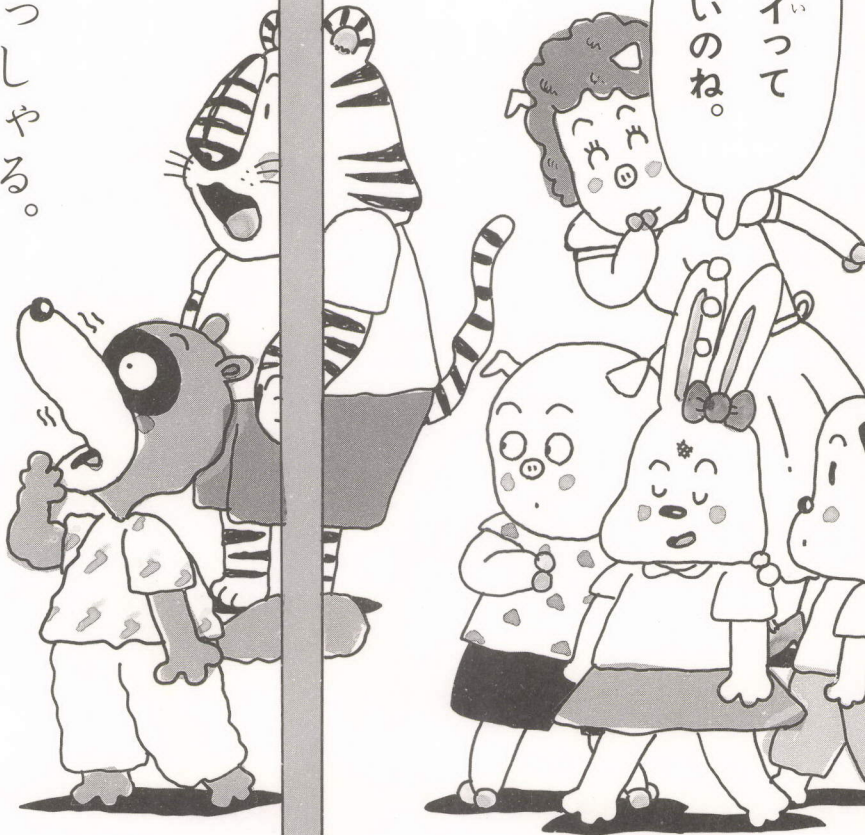
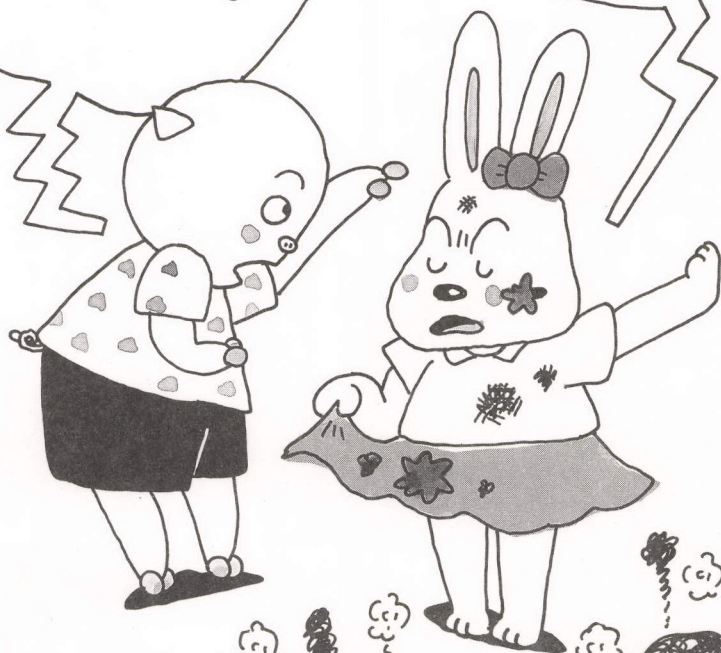
よべよ　あらし
さけろよ　うみ
ごしゅじんさまの
およびだぞ〜。
グスッ。
チク

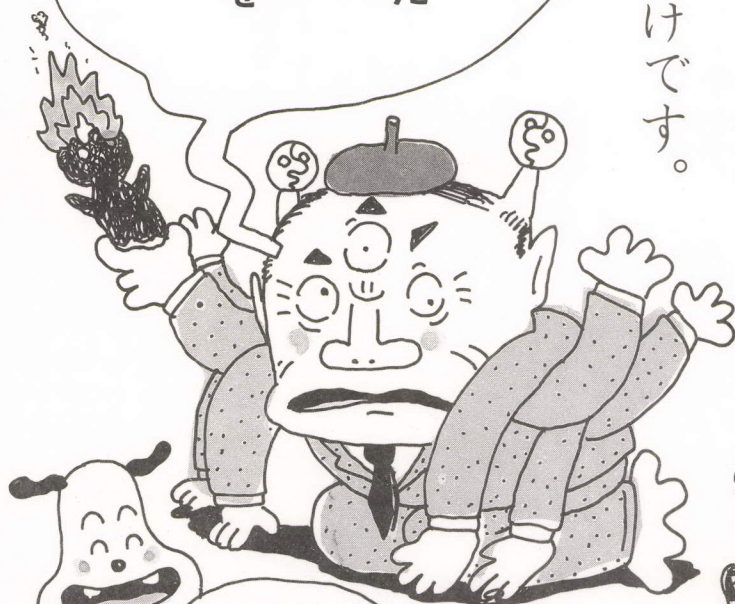
「イテテテ　イテ、よくぞ　イテテ、みやぶったな。
テテテ　ほうれんそうマン、もう　ようかいたちには
まかせておけん。イデデ、わしの　イデデ、
とっておきの　ものを　イテテテ、
おみせしようかね。グッスン。」
ゾロリは　なみだごえで
いうと、ほけんしつの
まどから、うみに　むかって
こう　さけびました。

ほうれんそうで、
ぼくの　うでは
てつのように
かたく
なったんだ!!
ウッ!?
ブスリ
クニャッ
イデデデデデ
あっ、おまえは
ゾロリ!!

「ちゅうしゃなんか　へっちゃらだ。
ポンチの　かわりに、ぼくの
うでに　しろ。」
「よーく　いった、ほうれんそうマン。
かくごしろよ。ヒッヒッヒー。」

「うーん、子どもに　ちゅうしゃを　つかうなんて、
ひきょうな　ようかい、もう　ゆるせなーい。」
つよく　おもって、ポイポイが
ほうれんそうを　たべますと……
**ジャジャジャジャーン**

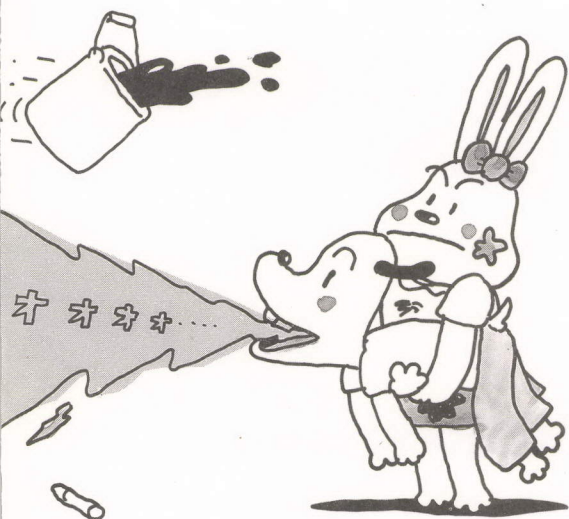
ピンクの　おかお、みどりの
マントの　ほうれんそう
マンに　へんしんです。

「さあさ、どうぞ　こちらへ。」
ポンチが　つかまってしまいました。
「まああ、そんなに　えんりょなさらなくても　いいじゃありませんか。ほら　この、とくに　いたそうなのをごよういいたしましたよ。」
「ポイポイ、たすけてー。」

きねんで、この　大きな　ちゅうしゃを
うつと、おまけに
小さな　ちゅうしゃも
うってさしあげる
サービス
きかんちゅうです。

ほけんしつに
はいって
びっくり。

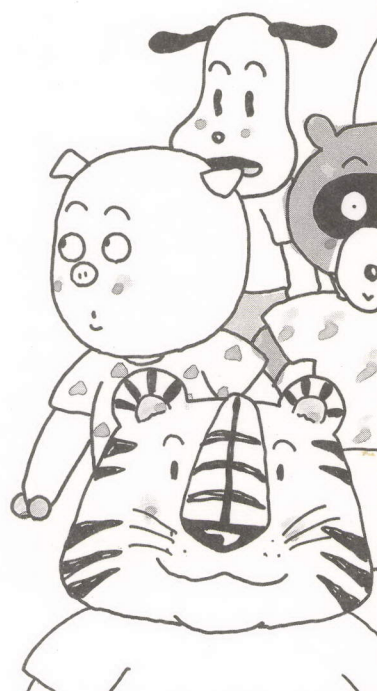
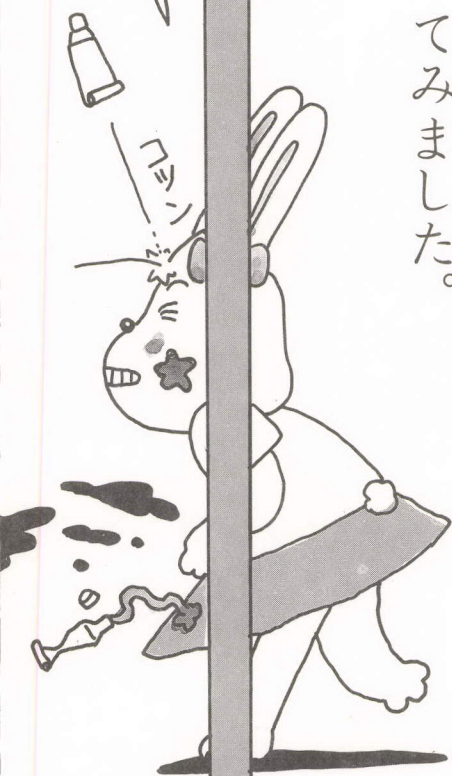
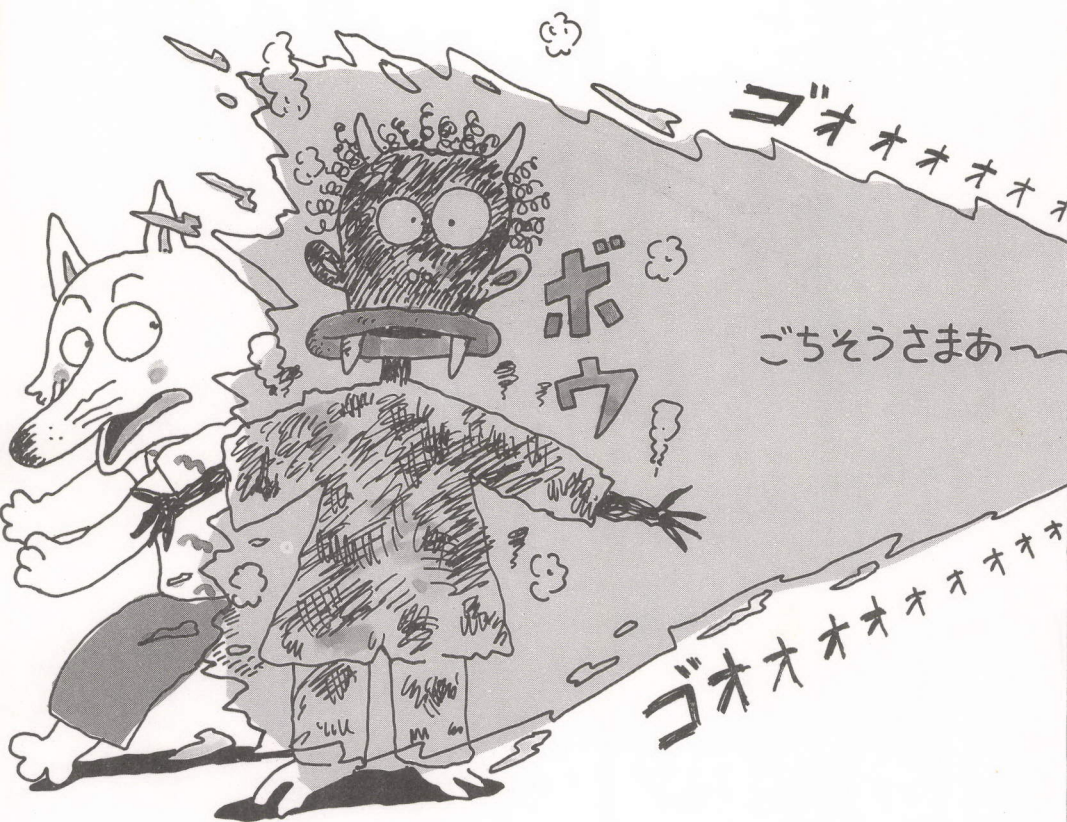
「いらっしゃいませー。
おまちしてました。
みなさん ついていらっしゃる。
きょうは ほけんしつの 十しゅうねん

じょうだんじゃ　ないわ。
わたしの　ドレス
こんなに　しといて、
プンプン。
すみれちゃん、
おでこに　けがしてるよ。
てあてを　しに、
ほけんしつに
いこう。

きょうしつは、すみれちゃんの
もえる　げいじゅつで
まっくろけです。

こ、こ、これだ。
わたしの　もとめていた
ばくはつげいじゅつは。
すみれ先生、わたくしを
でしに　してください。

ぼくも
げいじゅつに
やくだつんだ
なあ、へへへ。

「わたしの　ドレス　めちゃくちゃに
しておいて、なにが　げいじゅつよ。」
おこった　すみれちゃんは、
イヌジを　エイッと　かかえあげ、
「わたしの　もえる　げいじゅつを
みせてあげるわ。　イヌジくん、
口を　あけて。」
ゴー　ゴゴゴォーッ！

「おれさまは　この　学校で、ずこうの
先生を　している、げいじゅつ
ようかい　バクハツダーだ!!
わたしの　げいじゅつを　ゆっくり
みていきたまえ。
おえかきは　ばくはつだー!!」
また　さけぶと、
えのぐや　ペンキを　なげつけ
ぬりたくり、ころげまわります。

「おえかきは
ばくはつだ——!!」

とつぜん、
ようかいが
すみれちゃんに
むかって、えのぐや
クレヨンや　ねんどを、
なげつけてきました。

「さあ　はやく、
ふねを　さがそうよ。」
「ええ、わたし　この
きょうしつ　さがしてみるわ。」
えの　じょうずな　すみれちゃんは、
ずこうしつを　のぞいてみました。

口からは　火が、
かえんほうしゃきの
ように　とびだし
ました。
「アチチチチ。」
カラヒリンと
ゾロリは、
にげていきます。

さすが　くいしんぼうの
イヌジくん。からいものも
だいすきだったのです。
イヌジは　コックさんを　みつけると、
おれいを　いいたくなりました。
「こんなに　おいしい　ケーキを
どうも　ありがとう。」
すると　どうでしょう。
あまりの　からさに、

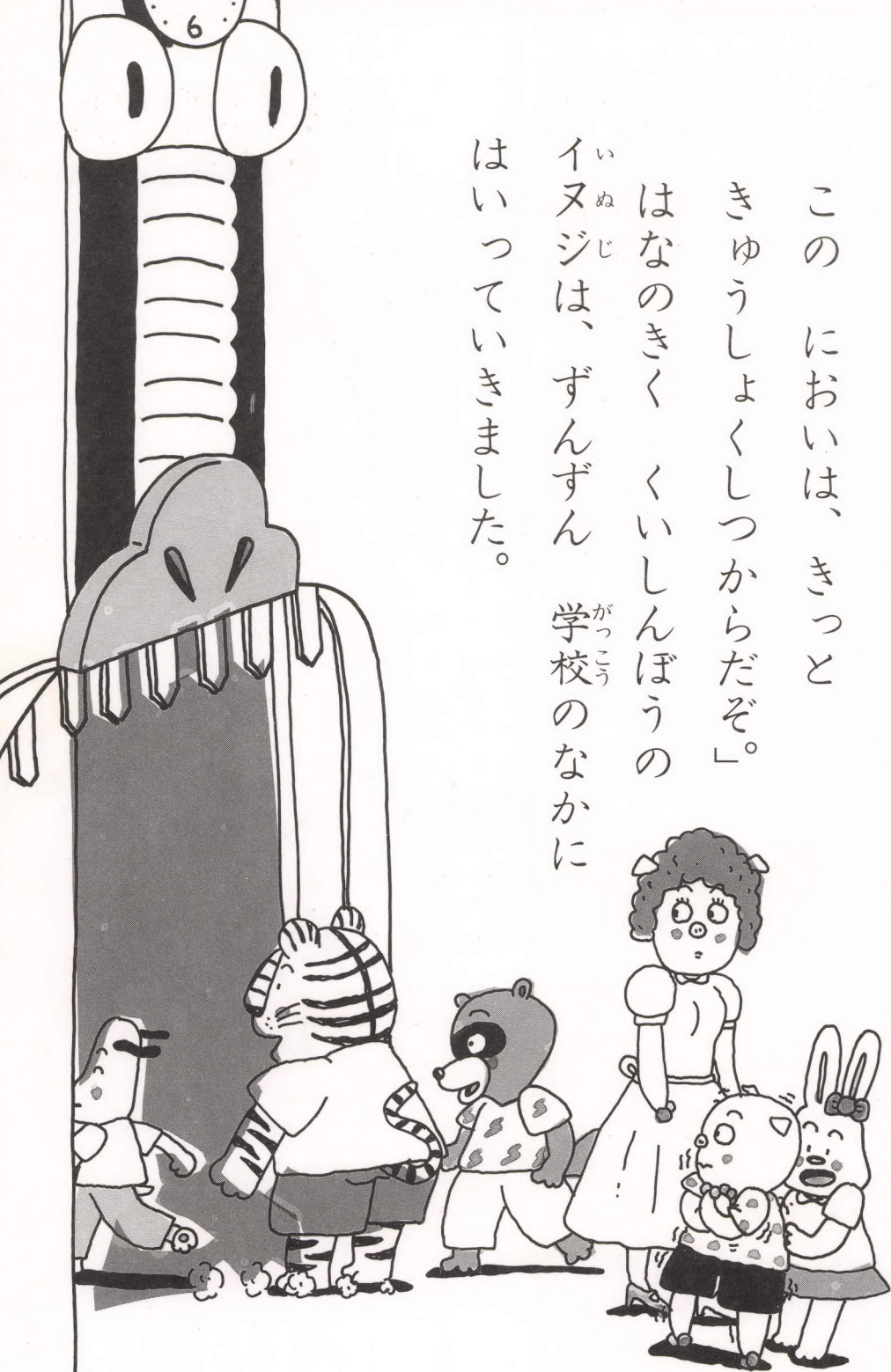
ところが
イヌジだけは、
あいかわらず
ケーキを
パクついています。

「おやっ　あの　イヌは、な、なんだ！
わしの〝ちょうげきからケーキ〟を
うまそうに、くっているぞ。」
カラヒリンが　さけびました。

みんな　そろって、
「いっただきまーす！」
パクッ
ひと口　たべただけで、　のうみそまで
にえたぎる　からさです。
「ウワッハッハ、　なみだを　ながして
くるしんでるぞ。」
ゾロリは　大よろこび。

# ようかいコック カラヒリンの つくった ケーキを きみは たべられるか

みただけでは　おいしそうな
ケーキでしたが、じつは……

この　においは、きっと
きゅうしょくしつからだぞ。」
はなのきく　くいしんぼうの
イヌジは、ずんずん　学校のなかに
はいっていきました。

こうしゃの　いりぐちは、ポイポイたちを　たべようと　まちかまえている　口のように　みえます。

「こ、こわいよ。か、かえろうよー。」

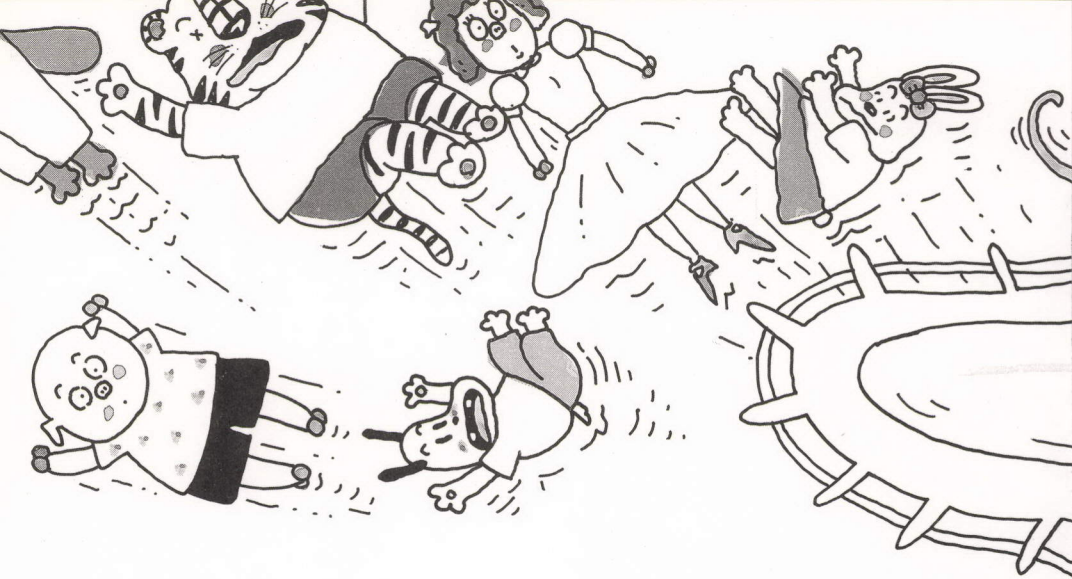
「なに　いってんだい。はやく　ふねを　みつけないと、ずーっと　この　ようかいじまに　いなきゃ　ならないんだぜ。」

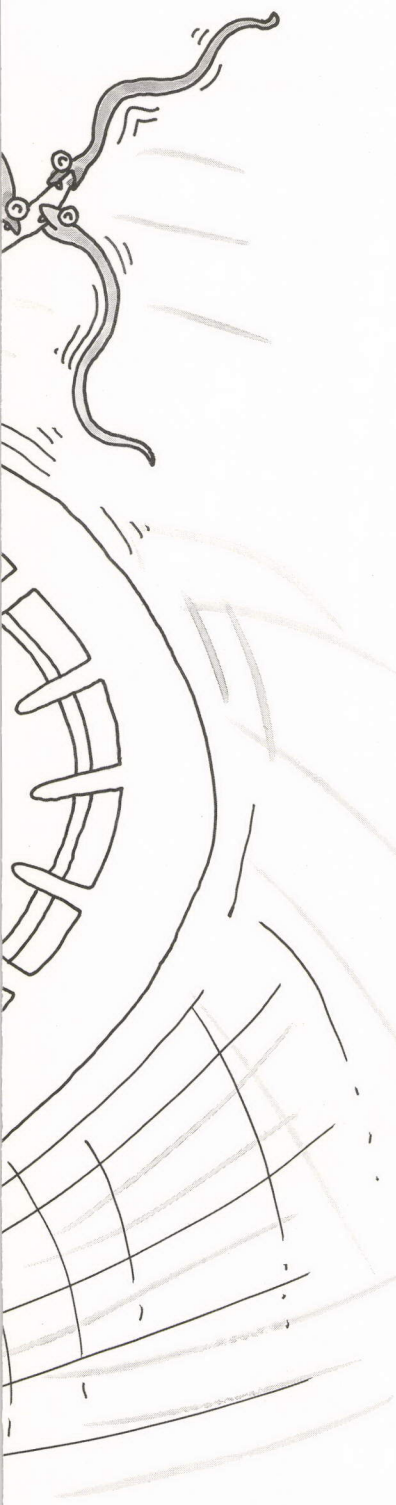
「そうよ、ポイポイ。ゆうきを　だして　いきましょ。」

「おやっ、いい　においが　するぞ。そういえば　ぼくたち、あさから　なーんにも　たべてないよ。」

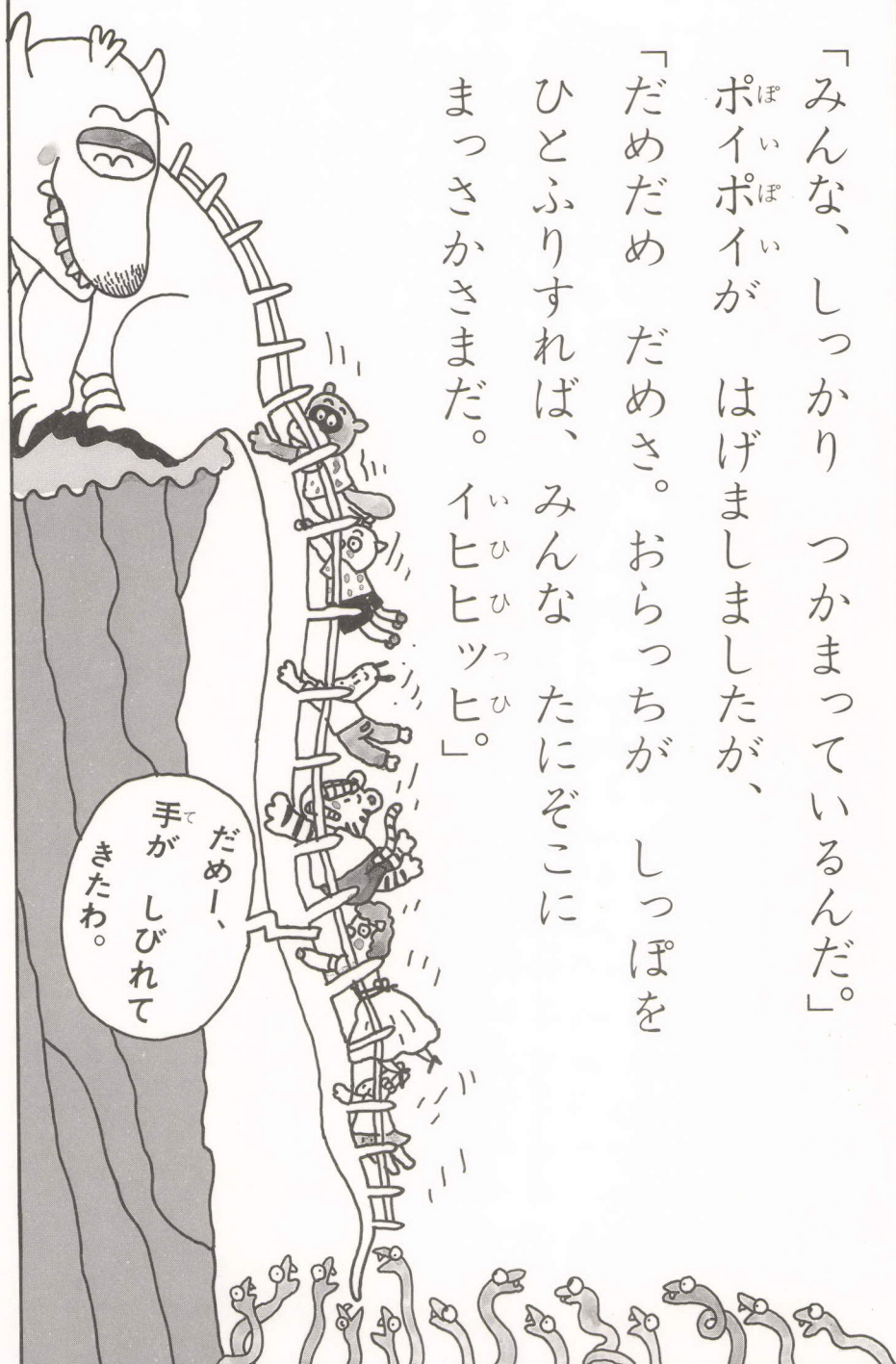
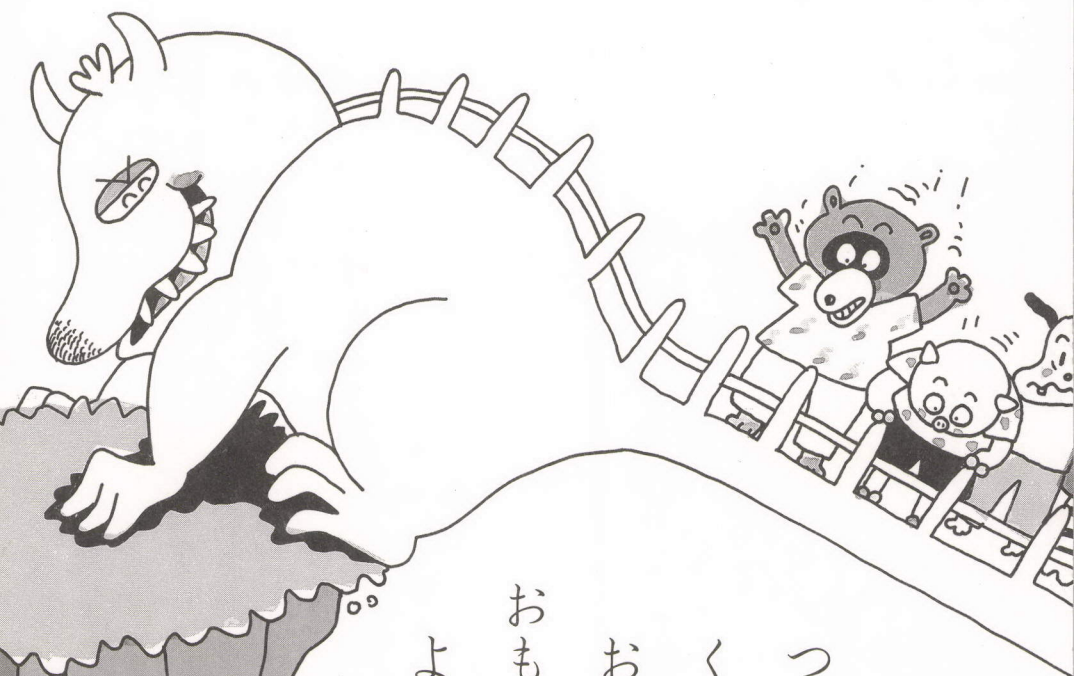
ようかいがっこう
あっ、ふねが
学校のなかに
はいっていくよ。
イテテテテ
ドサッ

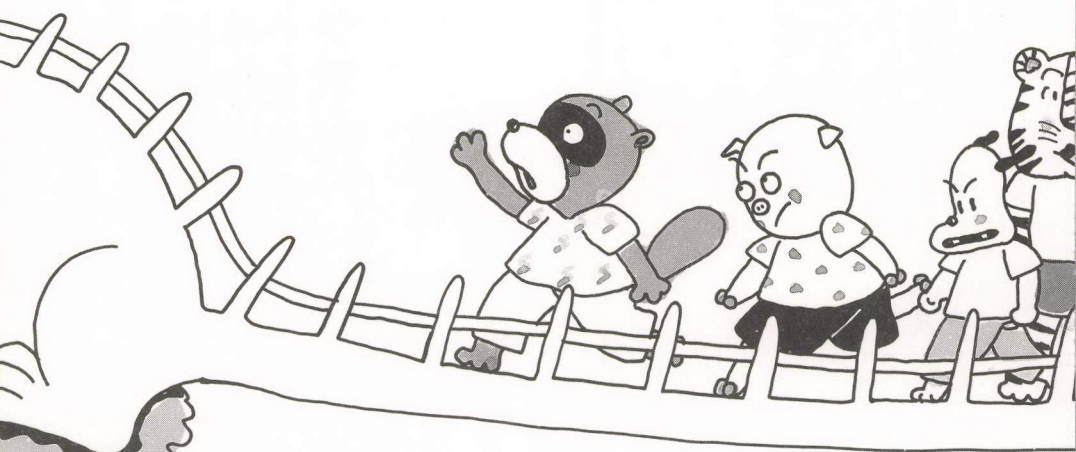
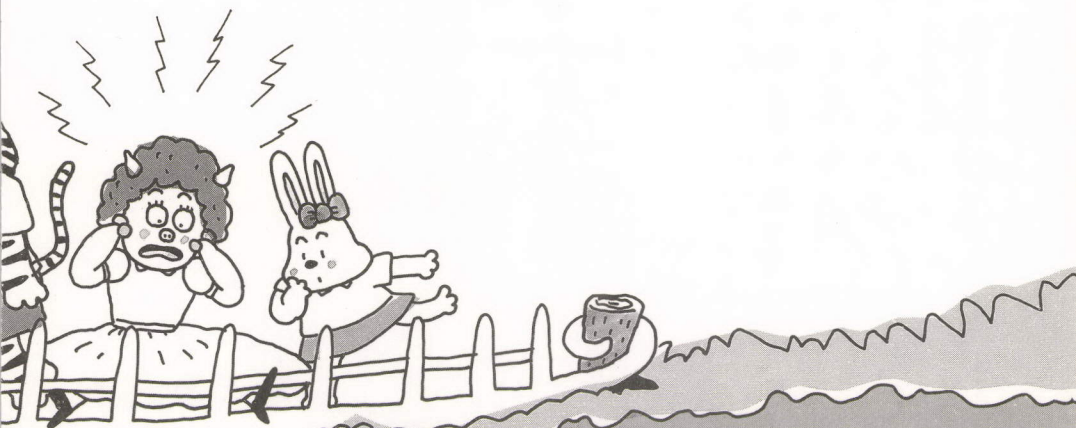
ヒューン！

とんで　とんで　とばされて、みんなが
おちてきた　ところは、ゆうしゅうな
ようかいを　そだてては
せかいじゅうに　おくりこむと
いわれる、ぶきみな
〝ようかい学校〟の
こうていだったのです

空たかく
ふりとばされて
しまいました。

「イデ、イデデデ　イデエー　ヨオ――ッ。」
ようかい　クルリンチョは、しっぽを
おもいきり　はねあげました。
ポイポイたちは、マムシだにに
おちずに　すんだものの、

クルリンチョは　しっぽを　ふろうと
しました。ところが、
しっぽの　さきに、マムシが
三びきも　かみついて
きたのです。

「みんな、しっかり　つかまっているんだ。」
ポイポイが　はげましましたが、
「だめだめ　だめさ。おらっちが　しっぽを
ひとふりすれば、みんな　たにぞこに
まっさかさまだ。イヒヒッヒ。」

だめー、
手が　しびれて
きたわ。

きこえてくると　どうじに、
つりばしが　ガラガラと、
くずれはじめました。
おや、みんなが　つりばしだと
おもいこんでいたのは、じつは
ようかい　クルリンチョの
しっぽだったのです。

「ワハハハハ　きがつくのが
おそかったようじゃね。
ここは、きょうふの
マムシだにだあ〜。」
ぶきみな　こえが

さあ、いそいで　おいかけよう。」
ポンチが　せんとうに　なって
わたりはじめると……、
「キャーッ！」
さっきは　あんなに　ゆうきの
あった　さゆり先生が　ぺたんと、
しりもちを　ついてしまいました。
「た、た、たにぞこを　みて！」

「ごめんなさい。すっかり どっかん
火山(かざん)くんの おかげで、おそくなって
しまったわ。ところで わたしたちの
ふね、どこに いったの。」
さゆり先生(せんせい)が みんなの ところに
おいつきました。

「いま、この つりばしを
わたって いった ところだよ。

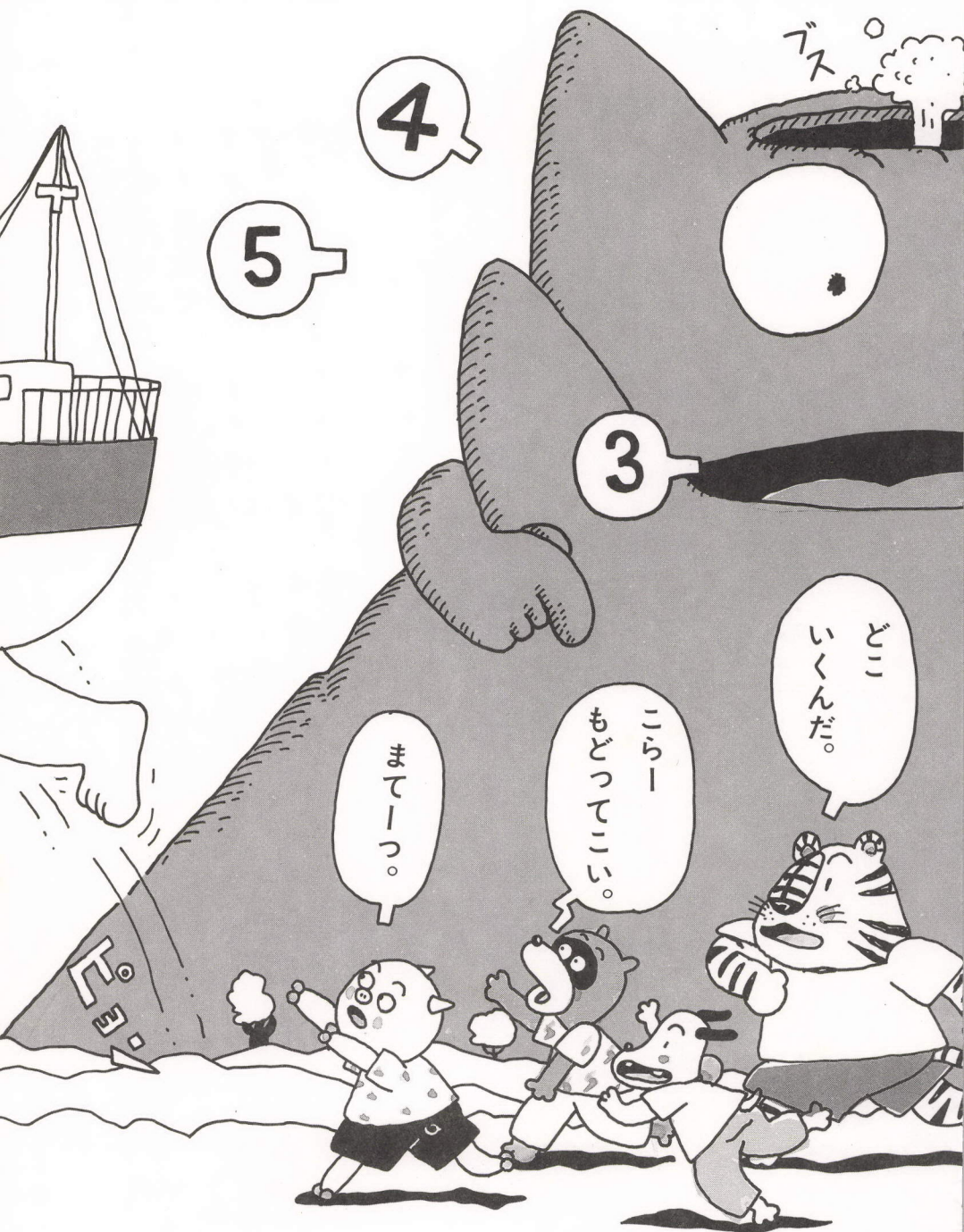
さゆり先生の　どりょくの
おかげで、どっかん火山は、
5の　つぎが　6だと
わかり、ばくはつも
おさまりました。
6かあ
ぶす
ぶす
ども、ありがとう。
おいら　あたまが
ひとつ　よくなったよ。
さ、いきましょ。

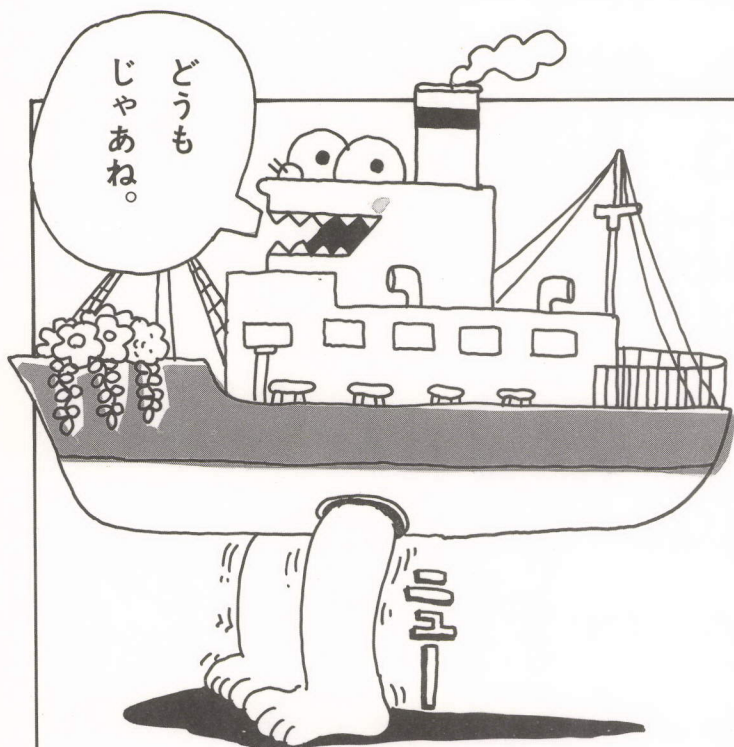
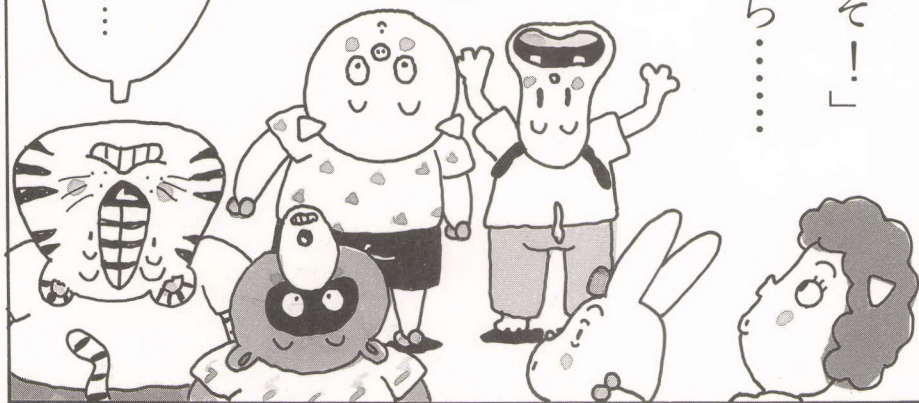
ぷしゅ～
5の　つぎは
6じゃと　いうのに
わからんの——。

ド
ぜひ　おしえなくっちゃ。」
5の　つぎは
6でしょ、
どっかん火山くん。
せんせ～～
わ～

5の　つぎを　かぞえられない　どっかん火山（かざん）は、
あたまが　こんがらかって
だいばくはつを　おこしました。

「にげましょう　さゆり先生（せんせい）。」
「だめ、わたしは　先生（せんせい）よ。
5の　つぎが　わからない　子（こ）を
みすてては　おけないわ。

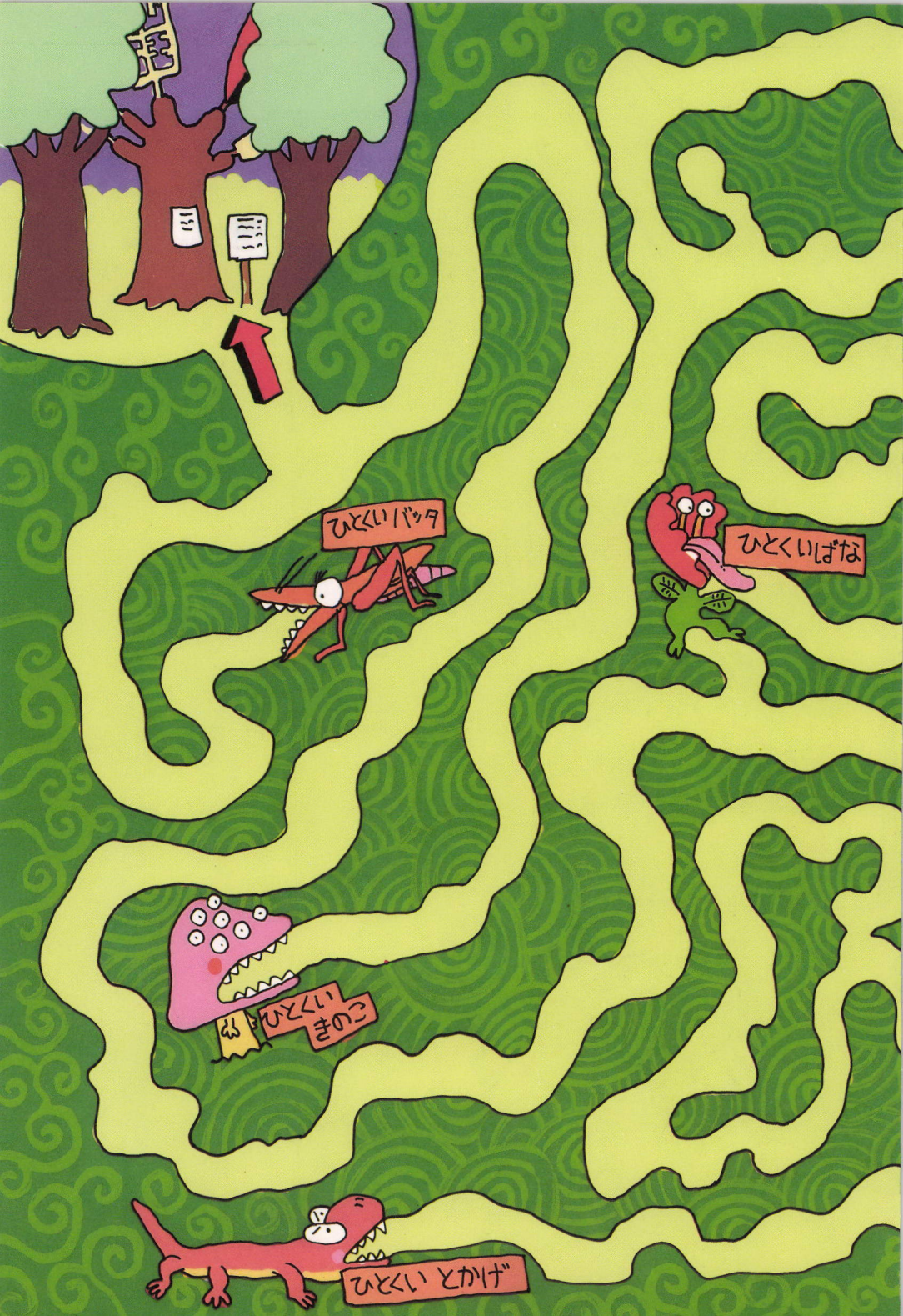
ブス
4
5
3
どこ いくんだ。
こらー もどってこい。
まてーっ。
ピュ。

むちゅうで ふねを おいかけて
いるうちに、どっかん
火山の ふもとに
きてしまいました。
ブス
1
2
ちゅうい
どっかん火山は
5までの かずしか
かぞえられません
5にん いじょうで
ちかづくと、火山の
あたまが、こんがらかって
ばくはつ しますので
5にん いじょうの
だんたいは、ちかづかないで
ください。

みんなが プラモデルの 木だと
おもっていたのが、じつは
ようかいプラモデラー
だったのです。

「やったー。ついに かんせいしたぞ！」
みんなで さけんだとたん、あら……

わたしも　みんなの
なかまいり
おはなで
ふねを　かざりましょ

つくりかたを　みながら、
六(ろく)にんの　ちからを　あわせると、　あらしにも
びくとも　しないほど　りっぱな　ふねが、
みるみる　できあがりはじめました。

♬ぼくらは　げんきな
五にんぐみ
ようかいじまから
だっしゅつだい
おおなみ　こえて
きけんを　こえて
かえれる　ふねを
つくるんだい
ゆうじょうパワーで
つくるんだい
♪♪

ぼく　プラモデル　だーいすき。
さっそく　つくりましょ。
セメダイン
つくりかた
できあがり
つくりかたも　かいてあるよ。しんせつだなあ。

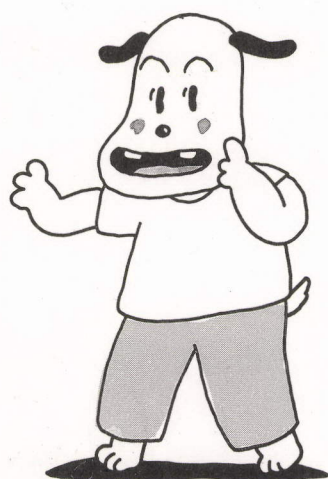
やっと ふとい 木に たどりつくと、
シマオが 大きな こえで さけびました。
「やったー ぼくたち、ついてるね。
こんな べんりな 木を みつけたよ。」
そこには、こんな たてふだが
ありました。

ひとくいバッタ
ひとくいばな
ひとくい
きのこ
ひとくい とかげ

ふねを　つくるのに
ちょうど　いい　木のところへ
つれていってね。
あっ　あの　木が
ふとくて
よさそうだよ。
まよいの森
ひとくいぐも
ひとくい ぐさ

「ぼく　はやく　おうちに　かえりたい……。」

「そうだ。みんなで　ふねを　つくろうよ。」

「ふねさえあれば　かえれるね。」

「ポイポイ、元気を　だして、
もりで　ふねを　つくる
木を　さがそうよ。」

さて　こちらは、そんな　わるだくみなど
なーんにも　しらない　ポイポイたち――

「こまったわ。みなとに　のこして
きた、ほかの　せいとたちは
どうしてるかしら……。」
バラの　花のように　うつくしい
ぶたの　さゆり先生は　ぽろっと、
なみだを　こぼしました。
「先生　なかないで。」

「それでは　さっそく　けいかくを　スタートさせて
くれたまえ。わたしは　まだ　つくらなければ
ならない　ものが　あるのでね。ニヒニヒニヒ。」
ゾロリは　先生に　そういうと、ようかい学校の
たいいくかんへ　きえていきました。

ようかいつうしんぼを
よんでしまった
きみ!!
このことは、くれぐれも
ポイポイたちには
ないしょだぞ。
おやくそくだよ。
タイム

ようかい
クルリンチョ つうしんぼ

⊙ようかいがっこうを
50ねんまえに
そつぎょう

⊙おおきなからだで
きょうぼう
しっぽを つかった わざが
とくい
なかなか たのもしい
きらわれもの です。

| がっき かもく | 1がっき | 2がっき | 3がっき |
|---|---|---|---|
| いじわる | 5 | 4 | 5 |
| いたずら | 5 | 5 | 5 |
| いじめ | 5 | 5 | 5 |
| こわがらせかた | 3 | 4 | 5 |

せんせい から

☆にゅうがくした ばかりの ころは
へただった こわがらせかたが
めきめき じょうたつした
とっても よいこです。

ようか
カラヒリン つう

⊙ようかいがっこうを
73ねんまえに
そつぎょう

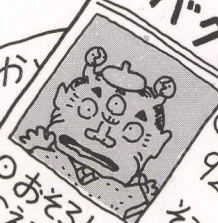
⊙りょうりが とくい
いちど カラヒリンの つくった
たべものを たべたら
2どと くちに したくない
ほど おいしい

⊙いまは、ようかいがっこうの
きゅうしょくの おじさん

| | | 3がっ |
|---|---|---|
| 5 | 5 | 5 |
| いたずら 5 | 5 | 5 |
| いじめ 5 | 5 | 5 |
| こわがら せかた 4 | 5 | 4 |

せんせい から

☆こわがらせ かたを
もう すこし べんき
しましょう。

ようか
バクハ

⊙よう
92ねんま
そつぎょう

⊙おそろしく おおきな
こえで「バクハッター」と
さけぶ なんだか
わからない ようかい
「え」が うまい

こ
せか 5 5 5 5 5

せんせい から

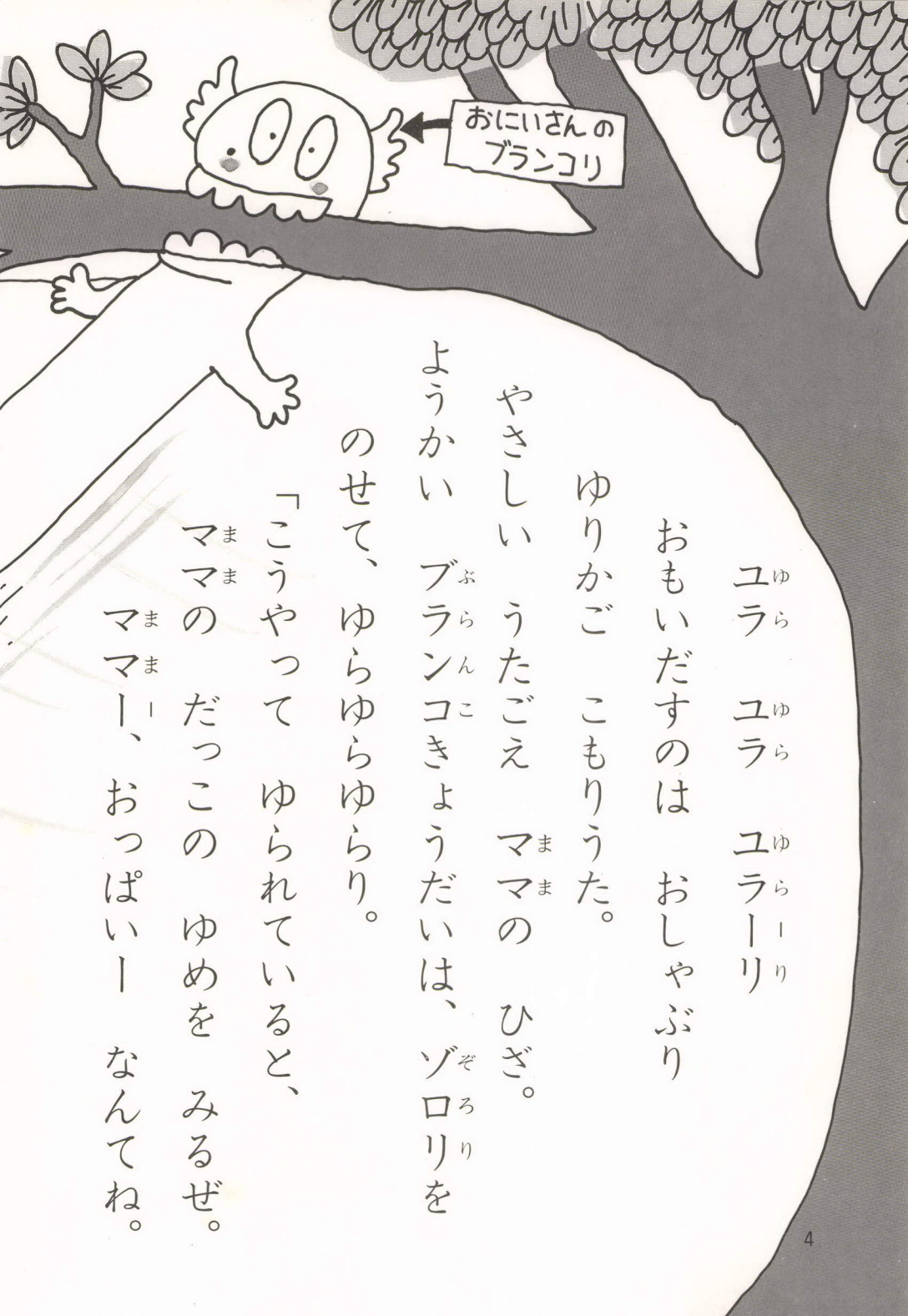
☆じゅぎょうちゅう「バクハッター」
と とつぜん さけぶのは
よしましょう。

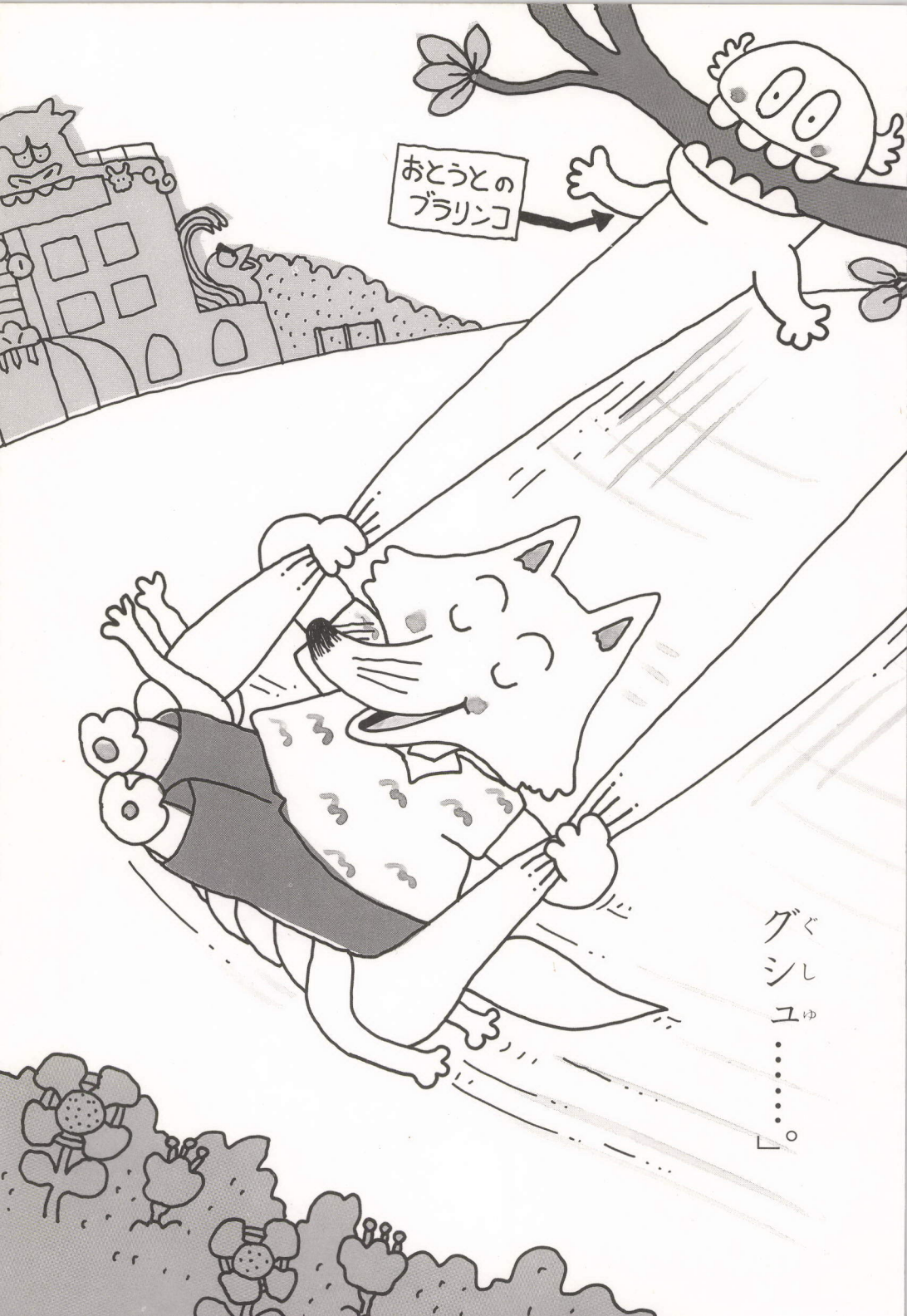
ようか
プ

⊙も
きには
プラモデ
ふねのか
になる ようか

に
ましょう
ること。

「おお　そうか　そうか。ちゃんと　ようかい
学校の　ゆうしゅうな　そつぎょうせいを
あつめてくれただろうねえ。」
「はい。もう　それは　まちがいありません。
ほら　このとおり。ようかい
つうしんぼを　ごらんに　なれば、
どんなに　ゆうしゅうか
おわかり
でしょう。」

「いつ　きいても、ゾロリどのの
うたは、ロマンが　ありますなあ。」
いつのまにか　ようかい学校の
先生が、めのまえに　あらわれました。

♪ママ　やさしかった　ママー
こんどこそ　ほうれんそうマン
なかせちゃうから　みててよね
ようかいがっこうの　ようかいが
みかたに　なってくれるんだ
バッチリ　きめるよ　ママ♬
パチパチパチパチ

グシュ……。」

おにいさんの
ブランコリ

ユラ　ユラ　ユラーリ
おもいだすのは　おしゃぶり
ゆりかご　こもりうた。
やさしい　うたごえ　ママの　ひざ。
ようかい　ブランコきょうだいは、ゾロリを
のせて、ゆらゆらゆらり。
「こうやって　ゆられていると、
ママの　だっこの　ゆめを　みるぜ。
ママー、おっぱいー　なんてね。

# ほうれんそうマンの ようかいがっこう

みづしま志穂 さく ★ 原 ゆたか え

# ほうれんそうマンのようかいがっこう

みづしま志穂 さく★原 ゆたか え